高速自動車国道中央自動車道 富士吉田線等に関する協定

高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等に関する協定の一部を変更する協定

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構と中日本高速道路株式会社は、高速道路株式会社法(平成16年法律第99号)第6条第1項及び独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法(平成16年法律第100号)第13条第1項の規定に基づき、平成18年3月31日付けで締結した「高速自動車国道中央自動車道富士吉田線等に関する協定」の一部を次のように変更する協定を締結する。

第4条中「別紙1-99」を「別紙1-101」に改める。

第5条中「別紙1-99」を「別紙1-101」に改める。

第11条中「平成72年3月8日」を「平成72年1月6日」に改める。

第14条中「別紙1-99」を「別紙1-101」に改める。

別紙1-2から別紙1-10、別紙1-13から別紙1-15、別紙1-17、別紙1-19、別紙1-20、別紙1-22、別紙1-24、別紙1-26、別紙1-29、別紙1-30、別紙1-32から別紙1-34、別紙1-36、別紙1-50から別紙1-53、別紙1-55、別紙1-58、別紙1-60、別紙1-61、別紙1-71、別紙1-78から別紙1-80、別紙1-82から別紙1-99を次のとおり改める。

別紙1-2

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道横浜名古屋線

(神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県厚木市下津古久まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県海老名市門沢橋 から 神奈川県厚木市下津古久 まで

(ロ) 延 長 1.5 キロメートル

- (3) 工事方法
 - (イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級(道路構造令) ・なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令)
 - (口) 設計速度

設計 区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県海老名市門沢橋から	120	1. 5	
神奈川県厚木市 下津古久 まて			

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル

(木) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 門沢橋 か 神奈川県厚木市 下津古久 ま	4 単線	6 車線	

(へ) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	往復分離する区間		摘 要	
	左 側	計	左 側	右 側	計	順 女
土工(掘割)部分	_	ı	_	_	I	
トンネル部分	_	_	_	_	ı	
橋梁高架部分 (中小橋)	_	_	_	_	_	
橋梁高架部分						
(長大橋)	1. 75×2	3. 50	_	_	1	

- (ト) 付加車線の標準幅員 メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員

ー メートル (土工部)

2. 25 メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道468号	神奈川県海老名市	立体接続	海老名南ジャンクション
(首都圏中央連絡自動車道)	門沢橋		
第一東海自動車道	神奈川県海老名市	立体接続	海老名南ジャンクション
	門沢橋		
一般国道129号	神奈川県厚木市	立体接続	厚木南インターチェンジ
	下津古久		

(4) 工事予算

121, 173 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 10 年 4 月 17 日

②工事の完成予定年月日 平成 30 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

103,089 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 97,935 百万円)(消費税込み)

別紙1-3

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道横浜名古屋線

(神奈川県厚木市下津古久から神奈川県伊勢原市上粕屋まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県厚木市下津古久 から 神奈川県伊勢原市上粕屋 まで

(ロ) 延 長 6.7 キロメートル

- (3) 工事方法
 - (イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級(道路構造令) ・なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令)
 - (口) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
	ာ် 120	6. 7	
神奈川県伊勢原市 上粕屋 ま	で		

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル
- (木) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県厚木市 下津古久 から 神奈川県伊勢原市 上粕屋 まで	4 車線	6 車線	

(へ) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	往復分離する区間		摘 要	
	左 側	計	左 側	右側	計	頂 女
土工(掘割)部分	_	_	_	_	l	
トンネル部分	_	_	_	_	ı	
橋梁高架部分						
(中小橋)	_	_	_	_	_	
橋梁高架部分						
(長大橋)	1. 75×2	3. 50	_	_	_	

別 紙

- (ト) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員

メートル (土工部)

2. 25 メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道129号	神奈川県厚木市	立体接続	厚木南インターチェンジ
	下津古久		
第一東海自動車道	神奈川県伊勢原市	立体接続	伊勢原ジャンクション(仮称)
	東富岡		
一般国道246号	神奈川県伊勢原市	立体接続	伊勢原北インターチェンジ(仮称)
(厚木秦野道路)	上粕屋		

(4) 工事予算

273,653 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 10 年 4 月 17 日

②工事の完成予定年月日 平成 31 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

273, 100 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 259,445 百万円)(消費税込み)

別紙1-4

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道横浜名古屋線

(神奈川県伊勢原市上粕屋から神奈川県秦野市柳川まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県伊勢原市上粕屋 から 神奈川県秦野市柳川 まで

(ロ) 延 長 12.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級(道路構造令)

・なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘要
神奈川県伊勢原市上粕屋	から	120	12. 8	
神奈川県秦野市柳川	まで	120	12. 6	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル

(木) 車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県伊勢原市上粕屋	から	4 車線	6 車線	
神奈川県秦野市柳川	まで	→ 平心水	0 平顺	

(へ) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	往復分離する区間			— <u>=</u> ,	
	左 側	計	左 側	右 側	計	摘安	
土工(掘割)部分	_	_	2. 50	1. 25	3. 75		
トンネル部分	_	_	1. 00	1. 00	2. 00		
橋梁高架部分 (中小橋)	_	-	2. 50	1. 25	3. 75		
橋梁高架部分 (長大橋)	_	_	1. 75	1. 25	3. 00		

- (ト) 付加車線の標準幅員 ー メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員
 - メートル (土工部)
 - メートル (橋梁部)
- (リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道246号	神奈川県伊勢原市上粕屋	立体接続	伊勢原北インターチェンジ(仮称)
(厚木秦野道路)			
一般国道246号	神奈川県秦野市菖蒲	立体接続	秦野インターチェンジ(仮称)

(4) 工事予算

337, 284 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 12 年 1 月 12 日

②工事の完成予定年月日 平成 33 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

368, 440 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 350,018 百万円)(消費税込み)

別紙1-5

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道横浜名古屋線

(神奈川県秦野市柳川から静岡県御殿場市駒門まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県秦野市柳川 から 静岡県御殿場市駒門 まで

(ロ) 延 長 32.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級(道路構造令) なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県秦野市柳川	から	120	32. 3	
静岡県御殿場市駒門	まで	120	02. 0	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル

(木) 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県秦野市柳川	から	4 車線	6 車線	
静岡県御殿場市駒門	まで	. —— 1930	- 1-10X	

(へ) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女
土工(掘割)部分	2. 50×2	5. 00	2. 50	1. 25	3. 75	
トンネル部分			1. 00	1. 00	2. 00	
橋梁高架部分 (中小橋)	2. 50×2	5. 00	2. 50	1. 25	3. 75	
橋梁高架部分 (長大橋)	1. 75×2	3. 50	1. 75	1. 25	3. 00	

- (ト) 付加車線の標準幅員 メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員

4.50 メートル (土工部)

4.50 メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道138 号	静岡県御殿場市柴怒田	立体接続	御殿場インターチェンジ(仮称)
及び県道仁杉柴怒田線			
第一東海自動車道	静岡県御殿場市駒門	立体接続	御殿場ジャンクション

(4) 工事予算

512, 434 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 18 年 4 月 19 日

②工事の完成予定年月日 平成 33 年 3 月 31 日

	4.ff	
別	紙	- 1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

561, 144 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 533,087 百万円)(消費税込み)

別紙1-6

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道横浜名古屋線

(静岡県御殿場市駒門から静岡県駿東郡長泉町大字元長窪まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 静岡県御殿場市駒門 から 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで

(ロ) 延 長 13.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第1級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘要
静岡県御殿場市駒門から	120	13. 2	
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで		10. 2	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル 及び 3.75 メートル

(木) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県御殿場市駒門から	4 車線	6 車線	
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで			

(へ) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

,						<u> </u>
構造による区分	往復分離し	往復分離しない区間 往復分離する区間		往復分離する区間		
	左 側	計	左 側	右 側	計	摘 要
土工(掘割)部分						
エエ(加引)叩刀	_	_	3. 00	1. 75	4. 75	
トンネル部分						
トンベルの方	_	_	1. 00	1. 00	2. 00	
橋梁高架部分						
(中小橋)	_	_	_	_	_	
橋梁高架部分						
(長大橋)	_	_	3. 00	1. 25	4. 25	

- (ト) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員
 - ー メートル (土工部)
 - ー メートル (橋梁部)
- (リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
第一東海自動車道	静岡県御殿場市	立体接続	御殿場ジャンクション
	駒門		
一般国道1号(伊豆縦貫自動車道)	静岡県駿東郡	立体接続	長泉沼津インターチェンジ
及び県道大岡元長窪線	長泉町大字元長窪		

(4) 工事予算

215, 487 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 10 年 1 月 20 日

②工事の完成予定年月日 平成 24 年 4 月 14 日 (供用開始)

平成 30 年 3 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

135, 753 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 135,753 百万円)(消費税込み)

別紙1-7

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道横浜名古屋線

(静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から静岡県浜松市北区引佐町東黒田まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 から 静岡県浜松市北区引佐町東黒田 まで

(ロ) 延 長 131.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘要
静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪 カ	16	120	131. 5	
静岡県浜松市 北区引佐町東黒田 ま	で	120	101. 0	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル および 3.75 メートル

(木) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪 から	4 車線	6 車線	
静岡県浜松市 北区引佐町東黒田 まで	4 半酸	O 半 帧	

(へ) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	はる区分 往復分離しない区間 往復分離する区間					摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女
土工(掘割)部分	I	_	3. 00	1. 75	4. 75	
トンネル部分	1	-	1. 00	1. 00	2. 00	
橋梁高架部分 (中小橋)	1	_	3. 00	1. 75	4. 75	
橋梁高架部分 (長大橋)	_	_	3. 00	1. 25	4. 25	

- (ト) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員
 - ー メートル (土工部)
 - ー メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道1号(伊豆縱貫自動車道)	静岡県駿東郡	立体接続	長泉沼津インターチェンジ
及び県道大岡元長窪線	長泉町大字元長窪		
一般国道139号(西富士道路)	静岡県富士市	立体接続	新富士インターチェンジ
及び県道一色久沢線	厚原		
一般国道52 号	静岡県静岡市	立体接続	新清水インターチェンジ
	清水区宍原		
中部横断自動車道	静岡県静岡市	立体接続	新清水ジャンクション
	清水区吉原		
県道清水富士宮線	静岡県静岡市	立体接続	清水いはらインターチェンジ
	清水区杉山		
第一東海自動車道	静岡県静岡市	立体接続	清水ジャンクション
	清水区草ヶ谷		
県道井川湖御幸線	静岡県静岡市	立体接続	新静岡インターチェンジ
及び県道山脇大谷線	葵区下		

一般国道1号	静岡県藤枝市	立体接続	藤枝岡部インターチェンジ
及び県道静岡朝比奈藤枝線	岡部町入野		
一般国道473号	静岡県島田市	立体接続	島田金谷インターチェンジ
	横岡新田		
県道掛川天竜線	静岡県周智郡	立体接続	森掛川インターチェンジ
	森町睦実		
一般国道152号	静岡県浜松市	立体接続	浜松浜北インターチェンジ
	浜北区中瀬		
一般国道474号	静岡県浜松市	立体接続	浜松いなさジャンクション
(三遠南信自動車道)	北区引佐町東黒田		
一般国道257号	静岡県浜松市	立体接続	浜松いなさインターチェンジ
	北区引佐町東黒田		
第一東海自動車道	静岡県浜松市	立体接続	三ヶ日ジャンクション
	北区三ヶ日町福長		

(4) 工事予算

2, 294, 749 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

②工事の完成予定年月日 平成 24 年 4 月 14 日 (供用開始)

平成 30 年 3 月 30 日 (残事業完成)

	4.ff	
別	紙	- 1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

969, 487 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 969,487 百万円)(消費税込み)

別紙1-8

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道横浜名古屋線

(静岡県浜松市北区引佐町東黒田から愛知県豊田市岩倉町まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 静岡県浜松市北区引佐町東黒田 から 愛知県豊田市岩倉町 まで

(ロ) 延 長 55.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第1級(道路構造令)

・なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
静岡県浜松市北区引佐町東黒田 から	120	55. 2	
愛知県豊田市岩倉町まで	120	55. 2	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50メートル

(木) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県浜松市北区引佐町東黒田 から 愛知県豊田市岩倉町 まで	4 車線	6 車線	

(へ) 路肩の標準幅員

構造による区分	往復分離し	 ない区間	往	復分離する区間		14
	左側	計	左側	右側	計	摘 要
土工(掘割)部分	3. 25×2	6. 50	2. 50	1. 25	3. 75	
トンネル部分	_	_	1. 00	1. 00	2. 00	
橋梁高架部分 (中小橋)	3. 25×2	6. 50	2. 50	1. 25	3. 75	
橋梁高架部分 (長大橋)	2. 50×2	5. 00	1. 75	1. 25	3. 00	

別 紙

- (ト) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル

- (チ) 中央帯の標準幅員
 - 3.00メートル(土工部)
 - 3.00メートル(橋梁部)
- (リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道474号	静岡県浜松市北区引佐町	立体接続	浜松いなさジャンクション
(三遠南信自動車道)	東黒田		
一般国道151号	愛知県新城市八東穂	立体接続	新城インターチェンジ
一般国道473 号	愛知県岡崎市樫山町	立体接続	岡崎東インターチェンジ
一般国道475号 (東海環状自動車道)	愛知県豊田市岩倉町	立体接続	豊田東ジャンクション

(4) 工事予算

610,649 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

②工事の完成予定年月日 平成 28 年 2 月 13 日 (供用開始)

平成 30 年 3 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

629, 447 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 629,447 百万円)(消費税込み)

別紙1-9

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中部横断自動車道

(静岡県静岡市清水区吉原から山梨県南巨摩郡南部町福士まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中部横断自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 静岡県静岡市清水区吉原 から 山梨県南巨摩郡南部町福士 まで

(ロ) 延 長 20.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
静岡県静岡市 清水区吉原	いら	80	20. 7	
山梨県南巨摩郡 南部町福士 a	きで	80	20. 7	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル

(木) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県静岡市 清水区吉原 から 山梨県南巨摩郡 南部町福士 まで	2 車線	4 車線	

(へ) 路肩の標準幅員

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右側	計	10 女
土工(掘割)部分	1. 75×2	3. 50	_	_	I	
トンネル部分	1. 25×2	2. 50	_	_	ı	
橋梁高架部分 (中小橋)	1. 75×2	3. 50	_	_	_	
橋梁高架部分 (長大橋)	1. 25×2	2. 50	_	_	_	

(ト) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル

(チ) 中央帯の標準幅員 – メートル (土工部)

ー メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
第二東海自動車道	静岡県静岡市	立体接続	新清水ジャンクション
横浜名古屋線	清水区吉原		
一般国道52号	山梨県南巨摩郡	立体接続	富沢インターチェンジ
	南部町福士		
中部横断自動車道	山梨県南巨摩郡	平面接続	本線(新直轄)
	南部町福士		

(4) 工事予算

157, 751 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

②工事の完成予定年月日 平成 31 年 3 月 31 日

	4H	
別	紙	- 1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

172, 934 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 164, 288 百万円)(消費税込み)

別紙1-10

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中部横断自動車道

(山梨県西八代郡市川三郷町宮原から山梨県南巨摩郡富士川町大椚まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中部横断自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山梨県西八代郡市川三郷町宮原 から 山梨県南巨摩郡富士川町大椚 まで

(ロ) 延 長 9.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘要
山梨県西八代郡 市川三郷町宮原 から	80	9. 3	
山梨県南巨摩郡 富士川町大椚 まで	80	9. 3	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル

(木) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
山梨県西八代郡 市川三郷町宮原 から 山梨県南巨摩郡 富士川町大椚 まで	2 車線	4 車線	

(へ) 路肩の標準幅員

構造による区分	往復分離し	ない区間	往	復分離する区間		摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	加安
土工(掘割)部分	1. 75×2	3. 50	_	_	ı	
トンネル部分	1. 25×2	2. 50	_	_	_	
橋梁高架部分						
(中小橋)	1. 75×2	3. 50	_	_	1	
橋梁高架部分						
(長大橋)	1. 25×2	2. 50	_	_	_	

(ト) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル

(チ) 中央帯の標準幅員 - メートル

- メートル

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
中部横断自動車道	山梨県西八代郡	平面接続	本線(新直轄)
	市川三郷町宮原		
県道市川三郷身延線	山梨県西八代郡	立体接続	六郷インターチェンジ
	市川三郷町宮原		
一般国道52 号	山梨県南巨摩郡	立体接続	増穂インターチェンジ
	富士川町青柳町		

(4) 工事予算

72,842 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

②工事の完成予定年月日 平成 29 年 3 月 19 日 (供用開始)

平成 31 年 3 月 30 日 (残事業完成)

	4H	
別	紙	- 1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

79,038 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 79,038 百万円)(消費税込み)

別紙1-13

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

近畿自動車道名古屋神戸線

(三重県四日市市伊坂町から三重県四日市市北山町まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 名古屋神戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間三重県四日市市伊坂町から三重県四日市市北山町まで

(ロ) 延 長 4.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘要
三重県四日市市伊坂町	から	100	4. 4	
三重県四日市市北山町	まで	100	4. 4	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50メートル

(木) 車線数

設計 区間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県四日市市伊坂町	から	4 車線	6 車線	
三重県四日市市北山町	まで	1 -1-420	— 13X	

(へ) 路肩の標準幅員

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	顶 女
土工(掘割)部分	2. 50×2	5. 00	_			
トンネル部分			_	_		
橋梁高架部分 (中小橋)	2. 50×2	5. 00	_	_	_	
橋梁高架部分 (長大橋)	1. 75×2	3. 50	_	_	_	

- (ト) 付加車線の標準幅員 ― メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員

4.50 メートル (土工部) 4.50 メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
近畿自動車道 名古屋亀山線	三重県四日市市伊坂町	立体接続	四日市ジャンクション
一般国道475号 (東海環状自動車道)	三重県四日市市北山町	立体接続	新四日市ジャンクション

(4) 工事予算

53,320 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 28 年 8 月 11 日 (供用開始)

平成 31 年 3 月 30 日 (残事業完成)

	化口	
別	紙	

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

57,061 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 57,061 百万円)(消費税込み)

別紙1-14

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

近畿自動車道名古屋神戸線

(三重県四日市市北山町から三重県三重郡菰野町大字潤田まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 名古屋神戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間三重県四日市市北山町から三重県三重郡菰野町大字潤田まで

(ロ) 延 長 8.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級(道路構造令)

・なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県四日市市北山町	から	120	8. 2	
三重県三重郡菰野町大字潤田	まで	120	J. Z	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50メートル

(木) 車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県四日市市北山町	から	4 車線	6 車線	
三重県三重郡菰野町大字潤田	まで	→ → # # # # # # # # # # # # # # # # # #	O 十 4%	

(へ) 路肩の標準幅員

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	摘安
土工(掘割)部分	2. 50×2	5. 00	_	_	l	
トンネル部分	_	_	_	_		
橋梁高架部分 (中小橋)	_	_	_	_	_	
橋梁高架部分 (長大橋)	1. 75×2	3. 50	_	_	_	

- (ト) 付加車線の標準幅員 ― メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員

4.50 メートル (土工部)

4.50 メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道475号	三重県四日市市北山町	立体接続	新四日市ジャンクション
(東海環状自動車道)			
一般国道477号	三重県三重郡菰野町 大字潤田	立体接続	菰野インターチェンジ(仮称)

(4) 工事予算

99,742 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 31 年 3 月 31 日

딘네	火圧 4	ı
別	紙 1	ı

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

106,095 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 100,790 百万円)(消費税込み)

別紙1-15

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

近畿自動車道名古屋神戸線

(三重県三重郡菰野町大字潤田から三重県亀山市安坂山町まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 名古屋神戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間三重県三重郡菰野町大字潤田から三重県亀山市安坂山町まで

(ロ) 延 長 15.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級(道路構造令) なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県三重郡菰野町大字潤田かり	から	120	15. 2	
三重県亀山市安坂山町ま	まで	120	10. 2	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル

(木) 車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県三重郡菰野町大字潤田	から	4 車線	6 車線	
三重県亀山市安坂山町	まで			

(へ) 路肩の標準幅員

構造による区分	往復分離しない区間		往	復分離する区間		摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女
土工(掘割)部分	2. 50×2	5. 00	2. 50	1. 25	3. 75	
トンネル部分	1	ı	1. 00	1. 00	2. 00	
橋梁高架部分 (中小橋)	2. 50×2	5. 00	ı	_	_	
橋梁高架部分 (長大橋)	1. 75×2	3. 50	1. 75	1. 25	3. 00	

	4.11	
別	紙	

- (ト) 付加車線の標準幅員 ー メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員

4.50 メートル (土工部)

4.50 メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
_	_	_	_

(4) 工事予算

195, 866 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 18 年 4 月 19 日

②工事の完成予定年月日 平成 31 年 3 月 31 日

딘네	火圧 4	ı
別	紙 1	ı

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

207, 510 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 197, 135 百万円)(消費税込み)

別紙1-17

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

近畿自動車道尾鷲多気線

(三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島から三重県度会郡大紀町崎まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 尾鷲多気線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島 から 三重県度会郡大紀町崎 まで

(ロ) 延 長 10.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県北牟婁郡紀北町 紀伊長島区東長島	から	80	10. 3	
三重県度会郡大紀町崎	まで			

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50メートル

(木) 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県北牟婁郡紀北町 紀伊長島区東長島 か	2 車線	4 車線	
三重県度会郡大紀町崎ま	C		

(へ) 路肩の標準幅員

構造による区分	往復分離しない区間		往	往復分離する区間		
	左 側	計	左 側	右 側	計	摘 要
土工(掘割)部分	1. 75×2	3. 50	_		1	
トンネル部分	1. 25×2	2. 50	_	_		
橋梁高架部分						
(中小橋)	1. 75×2	3. 50	_	_		
橋梁高架部分						
(長大橋)	1. 25×2	2. 50	_	_	_	

別 紙

- (ト) 付加車線の標準幅員 3.50メートル

- (チ) 中央帯の標準幅員
 - 一 メートル
- (リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
近畿自動車道	三重県北牟婁郡紀北町紀	平面接続	本線(新直轄)
尾鷲多気線	伊長島区東長島		
一般国道422号	三重県北牟婁郡紀北町紀 伊長島区東長島	立体接続	紀伊長島インターチェンジ
県道紀勢インター線	三重県度会郡大紀町崎	立体接続	紀勢大内山インターチェンジ

(4) 工事予算

42,062 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

②工事の完成予定年月日 平成 25 年 3 月 24 日 (供用開始)

平成 30 年 9 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

46,754 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 46,754 百万円)(消費税込み)

別紙1-19

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

近畿自動車道敦賀線

(福井県小浜市府中から福井県敦賀市高野まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 敦賀線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福井県小浜市府中 から 福井県放御大京駅 オイ

福井県敦賀市高野まで

(ロ) 延 長 39.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級(道路構造令)

(口) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福井県小浜市府中	から	80	39. 0	
福井県敦賀市高野	まで	80	39. 0	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50メートル

(木) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
福井県小浜市府中から	2 車線	4 車線	
福井県敦賀市高野まる		. 1-100	

(へ) 路肩の標準幅員

構造による区分	往復分離し	ない区間	往復分離する区間		摘 要	
	左 側	計	左 側	右 側	計	110 女
土工(掘割)部分						
工工(加引/叩刀	1. 75×2	3. 50	_	_	_	
トンネル部分						
トンベルのガ	1. 25×2	2. 50	<u> </u>	_	<u> </u>	
橋梁高架部分						
(中小橋)	1. 75×2	3. 50		_		
橋梁高架部分						
(長大橋)	1. 75×2	3. 50	_	_	_	

[※] 土工部については、左側路肩を二次除雪作業に必要な作業幅員2.50mを確保する。

(ト) 付加車線の標準幅員

3. 50メートル

(チ) 中央帯の標準幅員

― メートル

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
県道上中田烏線	福井県三方上中郡若狭町 上黒田	立体接続	若狭上中インターチェンジ
一般国道27 号	福井県三方上中郡若狭町 気山	立体接続	若狭三方インターチェンジ
一般国道27 号	福井県三方郡美浜町 山上	立体接続	若狭美浜インターチェンジ
北陸自動車道	福井県敦賀市高野	立体接続	敦賀ジャンクション

(4) 工事予算

172, 261 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

②工事の完成予定年月日 平成 26 年 7 月 20 日 (供用開始)

平成 31 年 3 月 30 日 (残事業完成)

	公口	- 1
別	紙	- 1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

178, 158 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 178, 158 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中央自動車道富士吉田線(高井戸IC)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

中央自動車道 富士吉田線

(2) 工事の箇所

東京都杉並区上高井戸

(3) 工事方法

(イ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
都道環状放射5号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	浅間橋ONランプ
都道環状放射5号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	高井戸OFFランプ
主要地方道環状8号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	中之橋ONランプ

(4) 工事予算

42,531 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 昭和 37年 10月 1日

②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

50,468 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 47, 945 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中央自動車道富士吉田線(元八王子IC)に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

中央自動車道 富士吉田線

(2) 工事の箇所

東京都八王子市元八王子町

(3) 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
都道山田宮ノ前線	東京都八王子市	立体接続	元八王子インターチェンジ
	元八王子町		(仮称)

(4) 工事予算

56 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手予定年月日 平成 30年 4月 1日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日

当該インターチェンジは、接続道路管理者が高速自動車国道法第11条の2第1項の連結許可を受けていないた め、今後の検討に必要な当面の設計費用のみを計上することとする。着手予定年月日は、さしあたり平成30年4 月1日とし、完成予定年月日は、現行整備計画区間が全て完成すると想定している時期とした。なお、連結許可 が出された時点で必要な協定変更を行う。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

79 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 79 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中央自動車道富士吉田線(八王子JCT)(改築)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

中央自動車道 富士吉田線

(2) 工事の箇所

東京都八王子市裏高尾町

(3) 工事方法

(イ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道468 号	東京都八王子市	立体接続	八王子ジャンクション
(首都圏中央連絡自動車道)	裏高尾町		

	4H	
別	紙	- 1

(4) 工事予算

9. 217 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 2年 4月 3日

②工事の完成予定年月日 平成 24年 3月 25日 (供用開始)

平成 30年 3月 30日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8,387 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 8,387百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(諏訪IC)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

中央自動車道 西宮線

(2) 工事の箇所

長野県諏訪市中洲

(3) 工事方法

(イ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道20号	長野県諏訪市 中洲	立体接続	諏訪インターチェンジ

紙

- (4) 工事予算
 - 1,028 百万円(消費税込み)
- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日 昭和 41年 10月 25日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額
 - 1, 205 百万円(消費税込み)

 - (うち、助成対象基準額 1,144 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(養老JCT)(改築)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

中央自動車道 西宮線

(2) 工事の箇所

岐阜県養老郡養老町飯積

(3) 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道475号	岐阜県養老郡養老町飯積	立体接続	養老ジャンクション
(東海環状自動車道)			

	4H	
別	紙	- 1

- (4) 工事予算
 - 2, 257 百万円(消費税込み)
- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日 平成 18年 4月 19日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額
 - 3,923 百万円(消費税込み)

 - (うち、助成対象基準額 3,727 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中央自動車道長野線(松本JCT)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

中央自動車道 長野線

(2) 工事の箇所

長野県松本市島立

(3) 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道158号	長野県松本市島立	立体接続	松本ジャンクション(仮称)
(中部縱貫自動車道)			

(4) 工事予算

4, 266 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 18年 4月 19日

②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

5,671 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 5,387 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道

(神奈川県海老名市大谷から神奈川県海老名市今里まで)(改築)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県海老名市大谷 から 神奈川県海老名市今里 まで

(ロ) 延 長 2.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘要
神奈川県海老名市大谷から	120	2. 3	
神奈川県海老名市 今里 まで	5		

- (ハ) 設計自動車荷重245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.60 メートル

(木) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 大谷 から 神奈川県海老名市 今里 まで	6 車線	6 車線	付加車線事業

(へ) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	往	復分離する区間		摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	摘安
土工(掘割)部分	2. 50×2	5. 00	_	_	I	
トンネル部分	ı	-	_	_	ı	
橋梁高架部分						
(中小橋)	2. 50×2	5. 00	_	_		
橋梁高架部分						
(長大橋)	-	_	_	_	_	

	火工	- 1
別	紙	- 1

- (ト) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員

4.50 メートル (土工部)

4.50 メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
_	_	_	

(4) 工事予算

12. 189 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日 平成 14 年 4 月 9 日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 26 年 6 月 25 日 (供用開始)

平成 30 年 3 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

12,908 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 12,908 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道

(神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市社家まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県海老名市門沢橋 から 神奈川県海老名市社家 まで

(ロ) 延 長 1.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(口) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県海老名市 門沢橋 か	80	1. 5	
神奈川県海老名市 社家 ま ⁻			

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル

(木) 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 門沢橋	から	4 車線	4 車線	
神奈川県海老名市 社家	まで	· +-4%	· 435	

(へ) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
構造による区分	往復分離し	ない区間	往	復分離する区間		摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	頂 女
土工(掘割)部分	_	_	_	_	_	
トンネル部分	_	_	_	_	_	
橋梁高架部分						
(中小橋)	_	_	_	_	_	
橋梁高架部分						
(長大橋)	1. 75×2	3. 50	_	_	_	

- (ト) 付加車線の標準幅員 ー メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員

- メートル (土工部)

3.00 メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道468号	神奈川県海老名市	平面接続	本線
(首都圏中央連絡自動車道)	門沢橋		
第二東海自動車道	神奈川県海老名市	立体接続	海老名南ジャンクション
横浜名古屋線	門沢橋		
第一東海自動車道	神奈川県海老名市	立体接続	海老名ジャンクション
	社家		

(4) 工事予算

41,991 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

②工事の完成予定年月日 平成 27 年 3 月 8 日 (供用開始)

平成 31 年 3 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

29,659 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 29,659 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道

(神奈川県海老名市社家から神奈川県海老名市中新田まで)に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県海老名市社家 から 神奈川県海老名市中新田 まで

- (ロ) 延 長 1.9 キロメートル
- (3) 工事方法
 - (イ) 道路の区分 海老名市社家から海老名市中新田まで 第 1 種 第 3 級(道路構造令)

海老名市中新田から海老名市中新田まで第 1 種 第 2 級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間	設計区間		延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県海老名市 社家	から	80	1. 2	
神奈川県海老名市 中新田	まで	33	1. 2	
神奈川県海老名市 中新田	から	100	0. 7	
神奈川県海老名市 中新田	まで	100	0. 7	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル

(木) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 社家 から 神奈川県海老名市 中新田 まで	4 車線	4 車線	

(へ) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	往	復分離する区間		摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女
土工(掘割)部分	1	-	_	_	ı	上段(第1種第3級) 海老名市社家から 海老名市中新田まで 下段(第1種第2級)
トンネル部分	1	_	_	_	-	海老名市中新田から 海老名市中新田まで
橋梁高架部分						
(中小橋)	-	_	_	_		
橋梁高架部分	1. 75×2	3. 50				
(長大橋)	2. 50×2	5. 00	_	_	-	

(ト) 付加車線の標準幅員

(チ) 中央帯の標準幅員

海老名市社家から海老名市中新田まで

ー メートル (土工部)

3.00 メートル (橋梁部)

海老名市中新田から海老名市中新田まで

ー メートル (土工部)

4.50 メートル (橋梁部)

(リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
第一東海自動車道	神奈川県海老名市	立体接続	海老名ジャンクション
	社家		
県道藤沢厚木線	神奈川県海老名市	立体接続	海老名インターチェンジ
	中新田		
一般国道468号	神奈川県海老名市	平面接続	本線
(首都圏中央連絡自動車道)	中新田		

(4) 工事予算

78,511 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

②工事の完成予定年月日 平成 22 年 2 月 27 日 (供用開始)

平成 31 年 3 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

41,347 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 41,347 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(日進IC)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の箇所

愛知県日進市岩崎町

(3) 工事方法

(イ)他の道路との接続位置

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
県道日進瀬戸道路	岛知用口准士出於町	 立体接続	日進インターチェンジ(仮称)
(名古屋瀬戸道路)	愛知県日進市岩崎町	<u> </u>	ロ延1ンダーテェンシ(仮称)

(4) 工事予算

1,851 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 12年 1月 18日

②工事の完成予定年月日 平成 31年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2, 228 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 2.117 百万円)(消費税込み)

別紙1-50

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道1号(新湘南バイパス)

(神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道1号

(有料道路名: 新湘南バイパス)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県茅ヶ崎市柳島 から 神奈川県中郡大磯町東町 まで

- (ロ) 延 長 5.6 キロメートル
- (3) 工事方法
 - (イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式
 - (ロ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 柳島 から	80	5. 6	
神奈川県中郡 大磯町東町 まで		J. 0	

- (二) 設計自動車荷重 245kN(B活荷重)
- (ホ) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 柳島 から 神奈川県中郡 大磯町東町 まで	4 車線	4 車線	

別 紙

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	往復分離しない区間		往復分離する区間		摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女
土工(掘割)部分	_	ı	_	_	ı	
トンネル部分	_	_	_	_	-	
橋梁高架部分						
(中小橋)	_	-	_	_	_	
橋梁高架部分						
(長大橋)	1. 25×2	2. 5	_	_	_	

(チ) 付加車線の標準幅員 – メートル

(リ) 中央帯の標準幅員

ー メートル (土工部)

3.00 メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
県道相模原茅ヶ崎線	神奈川県茅ヶ崎市	立体接続	茅ヶ崎海岸インターチェンジ
	柳島		
一般国道134 号	神奈川県	立体接続	平塚インターチェンジ
	平塚市高浜台		(仮称)
一般国道134 号	神奈川県中郡	立体接続	大磯インターチェンジ
	大磯町東町		(仮称)
一般国道1号	神奈川県中郡	平面接続	本線
(西湘バイパス)	大磯町東町		

(4) 工事予算

5,050 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日
 - イ 神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県茅ヶ崎市柳島まで

平成 33 年 4 月 1 日

別 紙 1

ロ 神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで

平成 35 年 4 月 1 日

なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日 平成 36 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6,549 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 6.222 百万円)(消費税込み)

別紙1-51

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)

(神奈川県海老名市中新田から神奈川県厚木市上依知まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道468号

(有料道路名: 首都圏中央連絡自動車道)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県海老名市中新田 から 神奈川県厚木市上依知 まで

(ロ) 延 長 10.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県海老名市 中新田	から	100	10. 1	
神奈川県厚木市 上依知	まで			

- (二) 設計自動車荷重 245kN(B活荷重)
- (木) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 中新田 から 神奈川県厚木市 上依知 まで	4 車線	4 車線	

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	押 安
土工(掘割)部分	2. 50×2	5. 00	1	_	-	
トンネル部分	ı	_	1. 00	1. 00	2. 00	
橋梁高架部分						
(中小橋)	2. 50×2	5. 00	2. 50	1. 25	3. 75	
橋梁高架部分						
(長大橋)	2. 50×2	5. 00	2. 50	1. 25	3. 75	

(チ) 付加車線の標準幅員 ― メートル

(リ) 中央帯の標準幅員

4.50 メートル (土工部)

4.50 メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
第一東海自動車道	神奈川県海老名市	平面接続	本線
	中新田		
県道藤沢厚木線	神奈川県海老名市	立体接続	海老名インターチェンジ
	中新田		
一般国道246号	神奈川県厚木市	立体接続	圏央厚木インターチェンジ
(厚木秦野道路)	中依知		
一般国道129号	神奈川県厚木市	立体接続	圏央厚木インターチェンジ
	中依知		
一般国道129号	神奈川県相模原市	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
	南区当麻		
県道相模原町田線	神奈川県相模原市	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
	南区当麻		

(4) 工事予算

92,082 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

- イ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名中新田まで (STA110+52~STA113+40) 平成 16 年 6 月 29 日
- ロ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名市河原口まで (STA113+40~STA114+60) 平成 21 年 5 月 11 日
- ハ 神奈川県海老名市河原口から神奈川県厚木市金田まで (STA114+60~STA128+40)平成 16 年 6 月 29 日
- 二 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで (STA128+40~STA129+20) 平成 23 年 2 月 1 日
- ホ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで (STA129+20~STA130+00) 平成 23 年 6 月 1 日
- へ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで (STA130+00~STA131+20) 平成 23 年 1 月 1 日
- ト 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで (STA131+20~STA132+91) 平成 23 年 1 月 1 日
- チ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで (STA132+91~STA138+00) 平成 18 年 6 月 30 日

別紙	1
リ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで 平成 23 年 1 月 1 日	(STA138+00~STA139+00)
ヌ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市下依知まで 平成 18 年 6 月 30 日	(STA139+00~STA146+05)
ル 神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで 平成 20 年 7 月 1 日	(STA146+05~STA151+50)
ヲ 神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで 平成 21 年 12 月 1 日	(STA151+50~STA152+50)
ワ 神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市中依知まで 平成 20 年 7 月 1 日	(STA152+50~STA160+93.5)
カ 神奈川県厚木市中依知から神奈川県厚木市関口まで 平成 20 年 7 月 1 日	(STA160+93.5~STA164+85)
ョ 神奈川県厚木市下依知 平成 24 年 7 月 1 日	(圏央厚木IC取り付け部)
タ 神奈川県厚木市関口から神奈川県厚木市山際まで 平成 19 年 2 月 1 日	(STA164+85~STA176+50)
レ 神奈川県厚木市山際から神奈川県厚木市上依知まで 平成 24 年 6 月 1 日	(STA176+50~STA201+45)

別紙	1
ソ 神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで 平成 23 年 12 月 1 日	(STA201+45~STA206+31)
ツ 神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで 平成 25 年 2 月 1 日	(STA204+10~STA204+70)
ネ 神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで 平成 24 年 6 月 1 日	(STA204+70~STA206+31)
ナ 神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで 平成 24 年 6 月 1 日	(STA206+31~STA211+44)
ラ 神奈川県厚木市上依知 平成 24 年 12 月 1 日	(相模原ICランプ部)
ム 神奈川県厚木市上依知 平成 25 年 1 月 7 日	(相模原IC Hランプ部)
ウ 神奈川県厚木市上依知 平成 25 年 2 月 1 日	(相模原IC E,Fランプ部)
中 神奈川県相模原市南区当麻 平成 24 年 5 月 1 日	(相模原IC料金所部)

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成 25 年 3 月 30 日 (供用開始) 平成 30 年 3 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

91, 189 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 91, 189 百万円)(消費税込み)

別紙1-52

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)

(神奈川県厚木市上依知から東京都八王子市南浅川町まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道468号

(有料道路名 : 首都圏中央連絡自動車道)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県厚木市上依知 から 東京都八王子市南浅川町 まで

(ロ) 延 長 14.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県厚木市上依知	から	100	14. 8	
東京都八王子市南浅川町	まで	100	14. 0	

- (二) 設計自動車荷重 245kN(B活荷重)
- (ホ) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ) 車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県厚木市上依知	から	4 車線	/ 声 始	
東京都八王子市南浅川町	まで	中 極	4 車線	

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女
土工(掘割)部分	2. 50×2	5. 00	2. 50	1. 25	3. 75	
トンネル部分	1. 00×2	2. 00	1. 00	1. 00	2. 00	
橋梁高架部分						
(中小橋)	_	_	2. 50	1. 25	3. 75	
橋梁高架部分						
(長大橋)	2. 50×2	5. 00	2. 50	1. 25	3. 75	

(チ) 付加車線の標準幅員

ー メートル

(リ) 中央帯の標準幅員

4.50 メートル (土工部)

4.50 メートル (橋梁部)

別 紙

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道129号	神奈川県相模原市	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
	南区当麻		
県道相模原町田線	神奈川県相模原市	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
	南区当麻		
津久井広域道路	神奈川県相模原市	立体接続	相模原インターチェンジ
県道長竹川尻線	緑区城山町小倉		
一般国道20号	東京都八王子市	立体接続	高尾山インターチェンジ
	南浅川町		

(4) 工事予算

39.216 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 神奈川県厚木市上依知から神奈川県愛甲郡愛川町まで (上り線:STA.211+44~STA.0+06) 平成 25 年 11 月 1 日

ロ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで (上り線:STA.0+06~STA.1+00) 平成 25 年 10 月 1 日

	化厂	-
別	紙	- 1

ハ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで (上り線:STA.1+00~STA.2+25) 平成 25 年 12 月 1 日

二 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで (上り線:STA.2+25~STA.18+24) 平成 25 年 9 月 1 日

ホ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで (上り線:STA.18+24~STA.23+02) 平成 25 年 8 月 1 日

へ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで 平成 25 年 9 月 1 日

(上り線:STA.23+02~STA.23+33)

ト 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで (上り線:STA.23+33~STA.29+02) 平成 25 年 8 月 1 日

チ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで (上り線:STA.29+02~STA.31+44) 平成 26 年 2 月 1 日

リ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで 平成 26 年 1 月 1 日

(上り線:STA.31+44~STA.33+03)

ヌ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県相模原市緑区小倉まで (上り線:STA.33+03~STA.34+42) 平成 26 年 2 月 1 日

ル 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (上り線:STA.34+42~STA.44+17) 平成 26 年 1 月 1 日

- ヲ 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (上り線:STA.44+17~STA.45+92) 平成 26 年 3 月 1 日
- ワ 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (上り線:STA.45+92~STA.46+82) 平成 26 年 3 月 20 日
- カ 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (上り線:STA.46+82~STA.49+70) 平成 26 年 1 月 1 日
- ヨ 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (上り線:STA.49+70~STA.50+86) 平成 26 年 3 月 1 日
- タ 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (上り線:STA.50+86~STA.56+37) 平成 26 年 1 月 1 日
- レ 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区小倉まで (上り線:STA.56+37~STA.63+06) 平成 25 年 12 月 1 日
- ソ 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (上り線:STA.63+06~STA.65+00) 平成 25 年 10 月 1 日
- ツ 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (上り線:STA.65+00~STA.67+66) 平成 25 年 9 月 1 日
- ネ 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (上り線:STA.67+66~STA.67+97) 平成 25 年 10 月 1 日

	化厂	-
別	紙	- 1

ナ 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 25 年 9 月 1 日

(上り線:STA.67+97~STA.72+81)

ラ 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (上り線:STA.72+81~STA.77+38) 平成 25 年 5 月 7 日

ム 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 26 年 1 月 1 日

(上り線:STA.77+38~STA.80+20)

ウ 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 26 年 4 月 10 日

(上り線:STA.80+20~STA.80+68)

ヰ 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 25 年 12 月 1 日

(上り線:STA.80+68~STA.84+00)

ノ 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区城山まで (上り線:STA.84+00~STA.93+60) 平成 26 年 1 月 1 日

オ 神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで 平成 26 年 2 月 1 日

(上り線:STA.93+60~STA.93+71)

ク 神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで 平成 25 年 4 月 1 日

(上り線:STA.93+71~STA.97+88)

ヤ 神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで (上り線:STA.97+88~STA.100+00) 平成 25 年 11 月 1 日

	化厂	-
別	紙	- 1

マ 神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区中沢まで (上り線:STA.100+00~STA.107+99) 平成 25 年 10 月 1 日

ケ 神奈川県相模原市緑区中沢から東京都八王子市南浅川町まで (上り線:STA,107+99~STA,143+76) 平成 25 年 7 月 1 日

フ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで (上り線:STA.143+76~STA.143+86) 平成 25 年 8 月 1 日

コ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで (上り線:STA.143+86~STA.145+00) 平成 23 年 8 月 1 日

エ 神奈川県厚木市上依知から神奈川県愛甲郡愛川町まで 平成 25 年 11 月 1 日

(下り線:STA.211+44~STA.0+06)

テ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで (下り線:STA.0+06~STA.1+00) 平成 25 年 10 月 1 日

ア 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで 平成 25 年 12 月 1 日

(下り線:STA.1+00~STA.1+60)

サ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで 平成 25 年 5 月 7 日

(下り線:STA.1+60~STA.18+23)

キ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで (下り線:STA.18+23~STA.28+79) 平成 25 年 7 月 1 日

別 紙 1

ユ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで 平成 26 年 2 月 1 日

(下り線:STA.28+79~STA.31+60)

メ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで 平成 26 年 1 月 1 日

(下り線:STA.31+60~STA.33+20)

ミ 神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県相模原市小倉まで 平成 26 年 2 月 1 日

(下り線:STA.33+20~STA.34+60)

シ 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (下り線:STA.34+60~STA.44+48) 平成 26 年 1 月 1 日

ユ 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (下り線:STA.44+48~STA.47+00) 平成 26 年 3 月 25 日

ヒ 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (下り線:STA.47+00~STA.49+90) 平成 26 年 1 月 1 日

モ 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (下り線:STA.49+90~STA.51+00) 平成 26 年 3 月 1 日

セ 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで (下り線:STA.51+00~STA.56+54) 平成 26 年 1 月 1 日

ス 神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区小倉まで (下り線:STA.56+54~STA.63+21) 平成 25 年 12 月 1 日

	化厂	-
別	紙	- 1

ン 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 25 年 10 月 1 日

(下り線:STA.63+21~STA.68+10)

イー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (下り線:STA.68+10~STA.72+62) 平成 25 年 5 月 7 日

ロー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 25 年 8 月 1 日

(下り線:STA.72+62~STA.72+93)

ハー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 25 年 4 月 1 日

(下り線:STA.72+93~STA.77+52)

ニー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 26 年 1 月 1 日

(下り線:STA.77+52~STA.80+20)

ホー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (下り線:STA.80+20~STA.80+80) 平成 26 年 4 月 10 日

へ-1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (下り線:STA.80+80~STA.84+00) 平成 25 年 12 月 1 日

トー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区城山まで 平成 26 年 1 月 1 日

(下り線:STA.84+00~STA.93+60)

チー1 神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで (下り線:STA.93+60~STA.93+71) 平成 26 年 2 月 1 日

	化厂	-
別	紙	- 1

リー1 神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで (下り線:STA.93+71~STA.97+88) 平成 25 年 4 月 1 日

ヌー1 神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで (下り線:STA.97+88~STA.100+00) 平成 25 年 8 月 1 日

ルー1 神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区中沢まで (下り線:STA.100+00~STA.104+80) 平成 25 年 6 月 1 日

ヲー1 神奈川県相模原市緑区中沢から神奈川県相模原市緑区中沢まで (下り線:STA.104+80~STA.105+56) 平成 25 年 8 月 1 日

ワー1 神奈川県相模原市緑区中沢から神奈川県相模原市緑区中沢まで (下り線:STA.105+56~STA.107+61) 平成 25 年 11 月 1 日

カー1 神奈川県相模原市緑区中沢から東京都八王子市南浅川町まで (下り線:STA.107+61~STA.143+33) 平成 25 年 4 月 1 日

ヨー1 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで (下り線:STA.143+33~STA.143+72) 平成 25 年 8 月 1 日

ター1 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで (下り線:STA.143+72~STA.145+00) 平成 23 年 8 月 1 日

レー1 神奈川県愛甲郡愛川町 平成 25 年 5 月 7 日 (愛川TN雷気室ヤード)

	化厂	-
別	紙	- 1

ソー1 神奈川県相模原市緑区葉山島 平成 25 年 5 月 7 日

(葉山島TN電気室ヤード)

ツー1 神奈川県相模原市緑区小倉 平成 26 年 4 月 1 日 (相模原IC部 A·B·Cランプ橋)

ネー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (相模原IC部 料金所ヤード、Bランプ土工部) 平成 26 年 5 月 1 日

ナー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (相模原IC部 TG・電気室・内プラヤード) 平成 26 年 6 月 1 日

ラー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 26 年 7 月 1 日

(相模原IC部 Bランプ土工部、Dランプ)

ム-1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 26 年 7 月 1 日

(相模原IC部 A・B・Cランプ土工部、TG張出部、 管理用诵路)

ウー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 26 年 9 月 1 日

(相模原IC部 料金所裏のり面、内プラ平地、 串川土工部のり面)

ヰ-1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成 26 年 11 月 1 日

(相模原IC部 A·B·Dランプ)

ノー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (相模原IC部 E・F・G・Hランプ) 平成 27 年 1 月 1 日

- オー1 神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで (川尻TN電気室ヤード) 平成 25 年 4 月 1 日
 - なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。
- ②工事の完成予定年月日

平成 26 年 6 月 28 日 (相模原愛川IC~高尾山IC)(供用開始) 平成 27 年 3 月 29 日 (相模原IC部) (供用開始) 平成 31 年 3 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

41, 395 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 41,395 百万円)(消費税込み)

別紙1-53

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)

(東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市裏高尾町まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道468号

(有料道路名 : 首都圏中央連絡自動車道)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 東京都八王子市南浅川町 から 東京都八王子市裏高尾町 まで

- (ロ) 延 長 2.0 キロメートル
- (3) 工事方法
 - (イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式
 - (ロ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘要	
東京都八王子市南浅川町	から	80	2. 0		
東京都八王子市裏高尾町	まで	3	2. 0		

- (二) 設計自動車荷重 245kN(B活荷重)
- (ホ) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘 要
東京都八王子市南浅川町	から	4 車線	4 車線	
東京都八王子市裏高尾町	まで	1 42/	1 -1-42/	

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女
土工(掘割)部分	1	_	1. 75	1. 00	2. 75	
トンネル部分	1	_	0. 75	0. 75	1. 50	
橋梁高架部分						
(中小橋)		_	_	_	-	
橋梁高架部分						
(長大橋)		_	1. 75	1. 00	2. 75	

(チ) 付加車線の標準幅員

(リ) 中央帯の標準幅員

ー メートル (土工部)

ー メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道20号	東京都八王子市 南浅川町	立体接続	高尾山インターチェンジ
中央自動車道 富士吉田線	東京都八王子市	立体接続	八王子ジャンクション

(4) 工事予算

23.779 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日
 - イ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Eランプ)(STA-1-20~STA0-37) 平成 24年 1月 1日
 - ロ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Eランプ)(STA0-37~STA0+00) 平成 23年 12月 1日
 - ハ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(料金所) 平成 23年 4月 1日

- 二 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(料金所周り平場部) 平成 24年 2月 1日
- ホ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(トールゲート) 平成 23年 8月 1日
- へ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Aランプ)(STA0+00~STA0+40) 平成 23年 12月 1日
- ト 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Aランプ)(STA0+40~STA1+63) 平成 24年 1月 1日
- チ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Aランプ)(STA1+63~STA4+11) 平成 23年 12月 1日
- リ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Aランプ)(STA4+11~STA5+29) 平成 23年 9月 1日
- ヌ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Cランプ)(STA3+97+~STA4+12) 平成 23年 12月 1日
- ル 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Cランプ)(STA4+12~STA6+80) 平成 23年 9月 1日
- ヲ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Cランプ)(STA6+80~STA7+78) 平成 24年 2月 1日

- ワ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Bランプ)(STA0+00~STA0+40) 平成 23年 12月 1日
- カ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Bランプ)(STA0+40~STA1+63) 平成 24年 1月 1日
- ヨ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Bランプ)(STA1+63~STA3+44) 平成 23年 12月 1日
- タ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Bランプ)(STA3+44~STA4+75) 平成 23年 9月 1日
- レ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Dランプ)(STA3+29~STA3+49) 平成 23年 12月 1日
- ソ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Dランプ)(STA3+49~STA6+07) 平成 23年 9月 1日
- ツ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(Dランプ)(STA6+07~STA7+63) 平成 24年 1月 1日
- ネ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(電気室) 平成 23年 4月 1日
- ナ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(電気室ヤードの盛土のり面(中央)) 平成 23年 12月 1日

- ラ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(電気室ヤードの盛土のり面(南側)) 平成 24年 1月 1日
- ム 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(電気室ヤードの盛土のり面(北側)) 平成 24年 2月 1日
- ウ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(上り線)(STA146+09~STA147+52) 平成 24年 2月 1日
- 中 東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで(上り線)(STA148+00~STA148+58) 平成 23年 11月 1日
- ノ 東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで(上り線)(STA148+58~STA153+68) 平成 23年 9月 1日
- 才 東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで(上り線)(STA153+68~STA158+00) 平成 23年 11月 1日
- ク 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(下り線)(STA145+82~STA146+20) 平成 24年 2月 1日
- ヤ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(下り線)(STA146+20~STA147+38) 平成 23年 12月 12日
- マ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで(下り線)(STA147+38~STA147+60) 平成 24年 2月 1日

- ケ 東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで(下り線)(STA148+72~STA153+68) 平成 23年 10月 1日
- フ 東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで(下り線)(STA153+68~STA158+00) 平成 23年 12月 1日
- コ 東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで(下り線)(STA160+79~STA160+89) 平成 24年 1月 1日
- エ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで(切土のり面) 平成 23年 11月 1日
- テ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで(STA145+00~STA146+09) 平成 23年 8月 1日
- ア 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで(STA147+52~STA148+72) 平成 23年 12月 12日
- サ 東京都八王子市高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで(STA158+00~STA161+00) 平成 23年 12月 12日
- キ 東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで(高尾山トンネル北坑口換気ダクト部) 平成 24年 2月 1日
- ユ 東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで(STA160+89~STA0+06) 平成 18年 8月 1日

- ・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。
- ②工事の完成予定年月日

平成 24 年 3 月 25 日 (供用開始) 平成 30 年 3 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

26. 458 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 26,458 百万円)(消費税込み)

別紙1-55

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)

(神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県海老名市門沢橋まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道468号

(有料道路名: 首都圏中央連絡自動車道)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県茅ヶ崎市西久保 から

神奈川県海老名市門沢橋まで

- (ロ) 延 長 7.9 キロメートル
- (3) 工事方法
 - (イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式
 - (ロ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 西久保 から	80	7. 9	
神奈川県海老名市 門沢橋 まで			

(二) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)

(ホ) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 西久保 から 神奈川県海老名市 門沢橋 まで	4 車線	4 車線	

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往	往復分離する区間		
	左 側	計	左 側	右 側	計	摘 要
土工(掘割)部分	_	-	_	_	ı	
トンネル部分	_	_	_	_	ı	
橋梁高架部分 (中小橋)	_	_	_		ı	
橋梁高架部分 (長大橋)	1. 75×2	3. 50	1. 75	1. 00	2. 75	

(チ) 付加車線の標準幅員 - メートル

(リ) 中央帯の標準幅員

ー メートル (土工部)

3.00 メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
一般国道1号	神奈川県茅ケ崎市	立体接続	茅ヶ崎ジャンクション
(新湘南バイパス)	西久保		
県道	神奈川県高座郡	立体接続	寒川南インターチェンジ
伊勢原藤沢線	寒川町田端		
県道	神奈川県高座郡	立体接続	寒川北インターチェンジ
相模原茅ヶ崎線	寒川町宮山		
第二東海自動車道	神奈川県海老名市	立体接続	海老名南ジャンクション
横浜名古屋線	門沢橋		
第一東海自動車道	神奈川県海老名市	平面接続	本線
	門沢橋		

(4) 工事予算

22,071 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県高座郡寒川町田端まで (STA.-1+86~STA.9+27) 平成 24 年 7 月 1 日

ロ 神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町田端まで (STA.9+27~STA.11+57) 平成 25 年 3 月 1 日

ハ 神奈川県高座郡寒川町田端 (寒川南IC 料金所部)平成 24 年 5 月 1 日

二 神奈川県高座郡寒川町田端 (寒川南IC ランプ部) 平成 24 年 12 月 1 日

ホ 神奈川県高座郡寒川町田端 (寒川南IC Cランプ部) 平成 25 年 1 月 15 日

へ 神奈川県高座郡寒川町田端 (寒川南IC D, Eランプ部) 平成 25 年 2 月 17 日

ト 神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで (STA.11+57~STA.27+10) 平成 24 年 5 月 1 日

チ 神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで (STA.27+10~STA.35+42) 平成 24 年 12 月 1 日

別 紙 1

リ 神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町宮山まで (STA.35+42~STA.50+93.5) 平成 24 年 6 月 1 日

ヌ 神奈川県高座郡寒川町宮山 平成 24 年 6 月 1 日

(寒川北IC 料金所部)

ル 神奈川県高座郡寒川町宮山 平成 24 年 12 月 1 日

(寒川北IC ランプ部)

ヲ 神奈川県高座郡寒川町宮山 平成 25 年 1 月 1 日 (寒川北IC AC. Bランプ部)

ワ 神奈川県高座郡寒川町宮山 平成 25 年 2 月 1 日 (寒川北IC AC. B. Dランプ部)

力 神奈川県高座郡寒川町宮山 平成 25 年 2 月 1 日

(寒川北IC Eランプ部)

ヨ 神奈川県高座郡寒川町宮山から神奈川県高座郡寒川町倉見まで (STA.50+93.5~STA.53+78) 平成 24 年 7 月 1 日

タ 神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで 平成 26 年 11 月 1 日

(STA.53+78~STA.57+15.5)

レ 神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで (STA.57+15.5~STA.59+30.5) 平成 26 年 12 月 1 日

ソ 神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで (STA.59+30.5~STA.60+77.5) 平成 26 年 7 月 1 日

平成 26 年 1 月 1 日

平成 23 年 1 月 1 日

平成 23 年 3 月 1 日

ツ 神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで (STA.60+77.5~STA.62+24.5)

ネ 神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで (STA.62+24.5~STA.66+93)

ナ 神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県海老名市門沢橋まで (STA.66+93~STA.72+09) 平成 22 年 8 月 1 日

ラ 神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで (STA.72+09~STA.73+39)

ム 神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで (STA.73+39~STA.76+23) 平成 22 年 8 月 1 日

なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成 25 年 4 月 14 日 (茅ヶ崎JCT~寒川北IC) (供用開始) 平成 27 年 3 月 8 日 (寒川北IC~海老名南JCT) (供用開始) 平成 31 年 3 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

23,858 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 23,858 百万円)(消費税込み)

別紙1-58

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道475号(東海環状自動車道)(豊田東JCT)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道475号

(有料道路名 : 東海環状自動車道)

(2) 工事の箇所

愛知県豊田市岩倉町

- (3) 工事方法
 - (イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式
 - (ロ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
第二東海自動車道	愛知県豊田市岩倉町	立体接続	豊田東ジャンクション
横浜名古屋線			

(4) 工事予算

361 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日 平成 26 年 10 月 1 日
 - なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。
 - ②工事の完成予定年月日 平成 28 年 2 月 13 日(供用開始) 平成 30 年 3 月 30 日(残事業完成)
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

421 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 421 百万円)(消費税込み)

別紙1-60

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道475号(東海環状自動車道)

(岐阜県可児市久々利柿下入会から岐阜県可児郡御嵩町比衣まで)(改築)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道475号

(有料道路名: 東海環状自動車道)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岐阜県可児市久々利柿下入会 から 岐阜県可児郡御嵩町比衣 まで

- (ロ) 延長 5.3 キロメートル
- (3) 工事方法
 - (イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式
 - (ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岐阜県可児市久々利柿下入会	から	100	5. 3	
岐阜県可児郡御嵩町比衣	まで	100	5. 5	

- (二) 設計自動車荷重 245kN(B活荷重)
- (ホ) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ) 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県可児市久々利柿下入会か	2 車線	4 車線	付加車線事業
岐阜県可児郡御嵩町比衣 ま	C		

別 紙

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	往	復分離する区間		摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	1
土工(掘割)部分	2. 50×2	5. 00	2. 50	1. 25	3. 75	
トンネル部分	_	_	1. 75	1. 25	3. 00	
橋梁高架部分 (中小橋)	_	_	2. 50	1. 25	3. 75	
橋梁高架部分 (長大橋)	_	_	2. 50	1. 25	3. 75	

(チ) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル

(リ) 中央帯の標準幅員

4.50 メートル (土工部)

4.50 メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
_	_	_	

(4) 工事予算

29,710 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日 平成 29 年 4 月 1 日
 - ・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。
 - ②工事の完成予定年月日 平成 33 年 3 月 31 日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

33, 280 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 31,616 百万円)(消費税込み)

別紙1-61

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道475号(東海環状自動車道)

(岐阜県関市下有知から岐阜県関市下有知まで)(改築)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

	公口	- 1
別	紙	- 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道475号

(有料道路名: 東海環状自動車道)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岐阜県関市下有知 から 岐阜県関市下有知 まで

(ロ) 延 長 1.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岐阜県関市下有知	から	100	1. 6	
岐阜県関市下有知	まで	100	1. 0	

- (二) 設計自動車荷重 245kN(B活荷重)
- (ホ) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ) 車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県関市下有知	から	2 車線	4 車線	付加車線事業
岐阜県関市下有知	まで	_ 1 123	1 12	1778 1 40 7 7 7

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	区間 往復分離する区間			
	左 側	計	左 側	右 側	計	摘 要
土工(掘割)部分		_	_	_	l	
トンネル部分		_	_	_		
橋梁高架部分						
(中小橋)			_	_	_	
橋梁高架部分						
(長大橋)	2. 50×2	5. 00	_	_	_	

- (チ) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル
- (リ) 中央帯の標準幅員

4.50 メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
_	_		

(4) 工事予算

508 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日 平成 27 年 4 月 1 日
 - ・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。
 - ②工事の完成予定年月日 平成 27 年 12 月 16 日(供用開始) 平成 28 年 9 月 29 日(残事業完成)
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

612 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 612 百万円)(消費税込み)

(債務引受額 612 百万円)(消費税込み)

別紙1-71

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画 (スマートIC)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1.	工事の内容	ひび工事に要す	トる費用に係る	債務引受限度額
	一 デッファッカッ	スピーデルタフ	マラスハリー かんり	咦1刀11人1以及13

(1) 工事予算

60,823 百万円(消費税込み)

(2) 工事に要する費用に係る債務引受限度額

68,005 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 ― 百万円(消費税込み))

(3) 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。 ただし、工事予算及び債務引受限度額については、(1)工事予算及び(2)債務引受限度額の内数である。 また、工事完成後は精算額としている。

			(ハ)工事方法		(.	=)				
(1)	(口)	他の道路との連結位置及び接続の方法			エ事の着手および	完成の予定年月日 	(木)	(~)	うち	
路線名	工事の箇所	他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日	工事予算 (消費税込み)	債務引受限度額 (消費税込み)	助成対象 基準額 (消費税込み)	頂
中央自動車道富士吉田線	東京都府中市是政	都道川崎府 中線及び市 道中央道側 道	東京都府中 市小柳町及 び東京都府 中市是政	立体接続	平成21年9月29日	平成27年3月7日 (供用開始) 平成30年3月30日 (残事業完成)	2,038百万円	2,252百万円	_	本線直結型
中央自動車道西宮線	滋賀県愛知 郡愛荘町松 尾寺	県道湖東三山インター線	滋賀県愛知 郡愛荘町松 尾寺	立体接続	平成21年9月29日	平成25年10月21日 (供用開始) 平成26年3月31日 (残事業完成)	1,184百万円	1,335百万円	_	湖東三 山 PA
中央自動車道長野線	長野県松本 市島内	市道8087 号線及び市 道豊科353 1号線	長野県松本 市島内及び 長野県安曇 野市豊科高 家	立体接続	平成21年9月29日	平成22年11月27日 (供用開始) 平成23年1月31日 (残事業完成)	494百万円	547百万円	_	梓川 SA
第一東海自動車道	愛知県名古屋 市守山区下志 段味	市道守山 パーキングエ リア線	愛知県名古 屋市守山区 下志段味	立体接続	平成21年9月29日	平成30年3月31日	3,265百万円	3,635百万円	_	守山 PA
中央自動車道富士吉田線	山梨県富士 吉田市上暮 地	県道富士吉 田西桂線	山梨県富士 吉田市上暮 地	立体接続	平成23年4月28日	平成30年3月31日	4,447百万円	4,719百万円	_	本線直結型
第一東海自動車道	静岡県焼津 市上新田	市道0105 号線	静岡県焼津 市上新田	立体接続	平成23年4月28日	平成28年3月12日 (供用開始) 平成30年3月30日 (残事業完成)	2,845百万円	3,229百万円	_	本線直結型
東海北陸自動車道	富山県南砺市上川崎	市道南砺ス マートイン ター線	富山県南砺市柴田屋	立体接続	平成23年4月28日	平成27年3月1日 (供用開始) 平成28年3月30日 (残事業完成)	1,323百万円	1,457百万円	_	本線 直結型

			(ハ)工事方法			=)				
(1)	(□)	他の道路との連結位置及び接続の方法			エ事の着手および	完成の予定年月日 	(木)	(^)	うち	
路線名	工事の箇所	他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日	工事予算 (消費税込み)	債務引受限度額 (消費税込み)	助成対象 基準額 (消費税込み)	備考
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県静岡 市葵区飯間	市道小瀬戸 飯間線及び 市道飯間本 線	静岡県静岡市 葵区小瀬戸及 び静岡県静岡 市葵区飯間	立体接続	平成23年4月28日	平成24年4月14日 (供用開始) 平成25年3月30日 (残事業完成)	200百万円	208百万円	ı	静岡 SA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県浜松 市浜北区四 大地	市道浜北灰 木大平1号線 及び市道須 部灰の木線	静岡県浜松市 浜北区四大地 及び静岡県浜 松市北区都田 町	立体接続	平成23年4月28日	平成24年4月14日 (供用開始) 平成25年3月30日 (残事業完成)	223百万円	230百万円	-	浜松 SA
北陸自動車道	富山県砺波市下中条	市道高岡砺波インター線	富山県砺波市下中条	立体接続	平成23年4月28日	平成27年3月1日 (供用開始) 平成28年3月30日 (残事業完成)	1,964百万円	2,125百万円	I	本線 直結型
一般国道475号(東海環状自動車道)	岐阜県土岐 市泉町	市道81920号 線、82525号線 及び82526号 線	岐阜県土岐 市泉町	立体接続	平成23年4月28日	平成25年2月28日 (供用開始) 平成25年8月30日 (残事業完成)	475百万円	532百万円	_	五斗蒔 PA
中央自動車道西宮線	山梨県笛吹市八代町南	県道313号藤 垈石和線及び 市道4015号 線	山梨県笛吹市八代町南	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月26日 (供用開始) 平成30年3月30日 (残事業完成)	2,195百万円	2,422百万円	_	本線直結型
第一東海自動車道	静岡県沼津市宮本	市道0118号 線及び市道0 105号線	静岡県沼津 市宮本	立体接続	平成24年5月17日	平成28年3月19日 (供用開始) 平成29年3月30日 (残事業完成)	633百万円	735百万円	_	愛鷹 PA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県周智 郡森町大字 円田	町道遠州森町 PA上り線及び 町道遠州森町 PA下り線	静岡県周智郡 森町大字一宮 及び静岡県周 智郡森町大字 円田	立体接続	平成24年5月17日	平成26年3月29日 (供用開始) 平成27年3月30日 (残事業完成)	567百万円	632百万円	_	遠州森町 PA

			(ハ)工事方法		(2	=)				
(1)	(口)	他の道路との連結位置及び接続の方法			エ事の着手および	完成の予定年月日	(赤)	(~)	うち]
路線名	工事の箇所	他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日	工事予算 (消費税込み)	債務引受限度額 (消費税込み)	助成対象 基準額 (消費税込み)	備考
北陸自動車道	滋賀県長浜市小谷丁野町	県道郷野湖 北線及び県 道丁野虎姫 長浜線	滋賀県長浜市 湖北町及び滋 賀県長浜市小 谷丁野町	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月25日 (供用開始) 平成30年3月30日 (残事業完成)	2,399百万円	2,678百万円	_	本線直結型
近畿自動車道 名古屋神戸線	三重県鈴鹿市山本町	市道山本65 号線	三重県鈴鹿市山本町	立体接続	平成24年5月17日	平成31年3月31日	1,564百万円	1,749百万円	-	鈴鹿PA (仮称)
近畿自動車道 敦賀線	福井県敦賀 市長谷	市道長谷2号 線	福井県敦賀 市長谷	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月25日 (供用開始) 平成30年3月30日 (残事業完成)	2,332百万円	2,505百万円	_	本線直結型
中央自動車道富士吉田線	山梨県上野 原市大野	市道談合坂 サービスエリ ア線	山梨県上野 原市大野	立体接続	平成25年7月5日	平成31年9月30日	1,599百万円	1,781百万円	_	談合坂 SA
	岐阜県安八 郡安八町中	町道南長田 坊野1号線	岐阜県安八 郡安八町中	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月31日	3,491百万円	4,301百万円	_	本線直結型
中央自動車道西宮線	岐阜県養老 郡養老町橋 爪南川原	町道橋爪1号 線及び町道 橋爪42号線	岐阜県養老 郡養老町橋 爪南川原	立体接続	平成25年7月5日	平成30年6月30日	763百万円	858百万円	_	養老 SA
第一東海自動車道	神奈川県綾瀬市小園	県道藤沢座 間厚木	神奈川県綾瀬市小園	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月31日	7,568百万円	8,128百万円	_	本線直結型

			(ハ)工事方法		(.	<u>_</u>)				
(1)	(口)	他の道路との連結位置及び接続の方法			エ事の着手および	「完成の予定年月日 	(赤)	(~)	うち	
路線名	工事の箇所	他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日	工事予算 (消費税込み)	債務引受限度額 (消費税込み)	助成対象 基準額 (消費税込み)	備考
第一東海自動車道	静岡県静岡市駿河区宮川	市道大谷改 良区7号線	静岡県静岡市駿河区宮川	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月31日	4,726百万円	5,085百万円	ı	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県浜松 市東区有玉 西町	市道有玉南 初生線及び 市道有玉西1 2号線	静岡県浜松 市東区有玉 西町	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月18日 (供用開始) 平成30年3月30日 (残事業完成)	945百万円	1,071百万円	_	三方原P A
	静岡県浜松 市西区呉松 町	県道引佐舘 山寺線及び 県道湖東舘 山寺線	静岡県浜松 市西区呉松 町	立体接続	平成25年7月5日	平成31年3月31日	2,803百万円	3,015百万円	_	本線直結型
第一東海自動車道	愛知県豊田 市西田町長 根山	及び市道上郷ス	愛知県豊田 市永覚新町 及び愛知県 豊田市西田 町外林	立体接続	平成25年7月5日	平成33年3月31日	1,764百万円	2,395百万円	_	上郷 SA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県駿東郡小山町大御神	町道3628 号線及び町 道3984号 線	静岡県駿東 郡小山町大 御神	立体接続	平成25年7月5日	平成33年3月31日	883百万円	1,008百万円	-	小山PA (仮称)
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県沼津 市根古屋	市道1970 号線及び市 道1971号 線	静岡県沼津 市根古屋	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月18日 (供用開始) 平成30年3月30日 (残事業完成)	813百万円	968百万円	_	駿河湾沼 津 SA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県磐田市敷地	市道下野部敷地線	静岡県磐田 市敷地	立体接続	平成25年7月5日	平成32年9月30日	1,807百万円	2,001百万円	_	本線直結型

		他の道路との	(ハ)工事方法 の連結位置及び			二) 「完成の予定年月日	(赤)	(^)	~-	_
路線名	(ロ) 工事の箇所	他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日	(水) 工事予算 (消費税込み)	(ス) 債務引受限度額 (消費税込み)	うち 助成対象 基準額 (消費税込み)	備考
北陸自動車道	石川県能美 市吉原釜屋 町	(仮称)市道 能美根上ス マートイン ター線	石川県能美 市吉原釜屋 町	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月31日	1,937百万円	2,210百万円	-	本線直結型
近畿自動車道敦賀線	福井県三方 上中郡若狭 町鳥浜	町道若狭梅 街道線	福井県三方 上中郡若狭 町鳥浜	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月31日	1,889百万円	2,118百万円	ı	三方五湖 PA
一般国道468号(首都圈中央連絡自動車道)	東京都八王子市美山町	市道川口33 9号線	東京都八王子市美山町	立体接続	平成25年7月5日	平成28年12月24日 (供用開始) 平成30年3月30日 (残事業完成)	984百万円	1,160百万円	-	本線直結型
一般国道475号 (東海環状自動車道)	岐阜県岐阜 市北野北	市道北野北線	岐阜県岐阜 市北野北	立体接続	平成25年7月5日	平成33年3月31日	703百万円	916百万円	_	岐阜PA (仮称)

別紙1-78

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

東海北陸自動車道(西尾張IC)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東海北陸自動車道

(2) 工事の箇所

愛知県一宮市大和町

(3) 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
県道岐阜稲沢線	愛知県一宮市	立体接続	西尾張インターチェンジ(仮称)
	大和町		

(4) 工事予算

782 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 21年 9月 5日

②工事の完成予定年月日 平成 30年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

943 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 896 百万円)(消費税込み)

別紙1-79

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

東海北陸自動車道

(岐阜県郡上市白鳥町那留から岐阜県高山市清見町夏厩まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東海北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岐阜県郡上市白鳥町那留 から 岐阜県高山市清見町夏厩 まで

(ロ) 延 長 40.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級(道路構造令)

(口) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岐阜県郡上市白鳥町那留	から	80	40. 9	
岐阜県高山市清見町夏厩	まで	80	40. 9	

- (ハ) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (二) 車線の幅員 3.50 メートル

(木) 車線数

設計 区間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県郡上市白鳥町那留	から	4 車線	4 車線	4車線化
 岐阜県高山市清見町夏厩 	まで	→ 平心水	→ 羊 柳水	子手が16

(へ) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

						(-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1
構造による区分	往復分離しない区間		往	復分離する区間	 摘 要	
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女
土工(掘割)部分						
エエ(加高)が	1. 75×2	3. 50	1. 75	1. 00	2. 75	
トンネル部分						
トンベルのカ	_	_	0. 75	0. 75	1. 50	
橋梁高架部分						
(中小橋)	1. 75×2	3. 50	1. 75	1. 00	2. 75	
橋梁高架部分						
(長大橋)	1. 25×2	2. 50	1. 25	1. 00	2. 25	

[※] 切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として白鳥~高鷲2.0m、高鷲~飛騨清見3.0m拡幅する。

모네	タロ	- 1
別	紙	

- (ト) 付加車線の標準幅員 メートル
- (チ) 中央帯の標準幅員
 - ー メートル (土工部)
 - ー メートル (橋梁部)
- (リ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備 考
路線名			
_	_	_	_
_	_		

(4) 工事予算

106, 508 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 24年 5月 1日

②工事の完成予定年月日 平成 31年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

113, 463 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 107,789 百万円)(消費税込み)

別紙1-80

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道475号(東海環状自動車道) (岐阜県関市広見から岐阜県大垣市桧町まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道475号

(有料道路名: 東海環状自動車道)

(2) 工事の箇所

(イ) 工事の区間 岐阜県関市広見 から 岐阜県大垣市桧町 まで

(ロ) 延 長 35.3キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岐阜県関市広見 た	から	100	35. 3	
岐阜県大垣市桧町	まで	100	00. 0	

- (二) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (ホ) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ) 車線数

設計 区間		工事施工	用地買収	摘要
岐阜県関市広見	から	2 車線	4 車線	
岐阜県大垣市桧町	まで	2 + NX	一	

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往	往復分離する区間			往復分離する区間 摘 要	
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女		
土工(掘割)部分	1. 75×2	3. 50	2. 50	1. 25	3. 75			
トンネル部分	1. 75×2	3. 50	1. 75	1. 25	3. 00			
橋梁高架部分 (中小橋)	1. 75×2	3. 50	2. 50	1. 25	3. 75			
橋梁高架部分 (長大橋)	1. 75×2	3. 50	2. 50	1. 25	3. 75			

- (チ) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル
- (リ) 中央帯の標準幅員ー メートル (土工部)ー メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道418号	岐阜県関市広見	立体接続	関広見インターチェンジ
一般国道256号	岐阜県山県市大字西深瀬	立体接続	高富インターチェンジ(仮称)
都計道岐阜インター線	岐阜県岐阜市大学北	立体接続	岐阜インターチェンジ(仮称)
一般国道157号	岐阜県本巣市上保	立体接続	糸貫インターチェンジ(仮称)
県道 岐阜関ヶ原線	岐阜県安八郡神戸町大字 西座倉	立体接続	大野神戸インターチェンジ(仮称)
一般国道21号及び県道大垣環 状線	岐阜県大垣市桧町	立体接続	大垣西インターチェンジ

(4) 工事予算

26,464 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日 平成 31年 4月 1日
 - なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。
 - ②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

28, 253 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 26,840百万円)(消費税込み)

別紙1-82

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道475号(東海環状自動車道) (岐阜県養老郡養老町大字飯積から三重県員弁郡東員町大字長深まで)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道475号

(有料道路名: 東海環状自動車道)

(2) 工事の箇所

(イ) 工事の区間 岐阜県養老郡養老町大字飯積 から 三重県員弁郡東員町大字長深 まで

(ロ) 延 長 34. 1キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘要
岐阜県養老郡養老町大字飯積から	100	34. 1	
三重県員弁郡東員町大字長深まで	100	04. 1	

- (二) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (木) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県養老郡養老町大字飯積から	2 車線	4 車線	
三重県員弁郡東員町大字長深まで		1 -1-420	

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	往復分離する区間			摘要
	左 側	計	左 側	右側	計	110 女
土工(掘割)部分	1. 75×2	3. 50	_	_	-	
トンネル部分	1. 75×2	3. 50	_	_	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1. 75×2	3. 50	_	_	_	
橋梁高架部分(長大橋)	1. 75×2	3. 50	_	-	_	

(チ) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル

(リ) 中央帯の標準幅員 - メートル (土工部)

ー メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
中央自動車道 西宮線	岐阜県養老郡養老町大字 飯積	立体接続	養老ジャンクション
県道 養老平田線	岐阜県養老郡養老町口ヶ島	立体接続	養老インターチェンジ
一般国道306号及び一般国道 365号	三重県いなべ市北勢町阿 下喜	立体接続	北勢インターチェンジ(仮称)
一般国道365号	三重県いなべ市大安町高 柳	立体接続	大安インターチェンジ(仮称)
一般国道365号	三重県員弁郡東員町大字 長深	立体接続	東員インターチェンジ

(4) 工事予算

25, 769 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

イ 岐阜県養老郡養老町直江から岐阜県養老郡養老町直江まで (養老JCT Gランプ) 平成 29 年 3 月 1 日

ロ 岐阜県養老郡養老町飯積から岐阜県養老郡養老町高田まで (No.4+7.0~No.53+5.5)

平成 29 年 4 月 1 日

ハ 岐阜県養老郡養老町高田から岐阜県養老郡養老町高田まで (No.53+5.5~No.63+7.5)

平成 29 年 5 月 1 日

二 岐阜県養老郡養老町高田から岐阜県養老郡養老町高田まで (No.63+7.5~No.111+0.0)

平成 29 年 4 月 1 日

ホ 岐阜県養老郡養老町高田から岐阜県養老郡養老町口ケ島まで (No.111+0.0~No.121+15.0)

平成 29 年 5 月 1 日

へ 岐阜県養老郡養老町ロケ島から岐阜県養老郡養老町ロケ島まで (No.121+15.0~No.130+13.0)

平成 29 年 4 月 1 日

ト 岐阜県養老郡養老町ロケ島から岐阜県養老郡養老町西岩道まで (No.130+13.0~No.141+11.0)

平成29 年5 月1 日

チ 岐阜県養老郡養老町西岩道から岐阜県養老郡養老町ロケ島まで (養老IC ランプ部)

平成 29 年 4 月 1 日

- リ 岐阜県養老郡養老町口ケ島から岐阜県養老郡養老町大跡まで (養老IC 料金所部)平成28 年12 月1 日
- ヌ 岐阜県養老郡養老町西岩道から岐阜県海津市南濃町庭田まで 平成31 年4 月1 日
- ル 岐阜県海津市南濃町庭田から三重県いなべ市北勢町二之瀬まで 平成29 年4 月1 日
- ヲ 三重県いなべ市北勢町二之瀬から三重県員弁郡東員町大字長深まで 平成31 年4 月1 日
 - なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。
- ②工事の完成予定年月日

平成 30 年 3 月 31 日 (養老JCT~養老IC)

平成 33 年 3 月 31 日 (養老IC~東員IC)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

27. 708 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 26,323 百万円)(消費税込み)

別紙1-83

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道475号(東海環状自動車道) (三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道475号

(有料道路名: 東海環状自動車道)

(2) 工事の箇所

(イ) 工事の区間 三重県員弁郡東員町大字長深 から 三重県四日市市北山町 まで

(ロ) 延 長 1.4キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 一般国道事業と有料道路事業による事業方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
 三重県員弁郡東員町大字長深 か	100	1 /	
 三重県四日市市北山町 ま		1. 4	

- (二) 設計自動車荷重 245kN(B活荷重)
- (木) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県員弁郡東員町大字長深 から	2 車線	4 車線	
 三重県四日市市北山町 まで		T	

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女
土工(掘割)部分						
工工(加田)/山沙)	2. 50×2	5. 00	-	_	-	
 トンネル部分						
1 2 1 7 2 11 7 3	_	_	-	_	-	
橋梁高架部分						
(中小橋)	_	_	_	_	_	
橋梁高架部分						
(長大橋)	2. 50×2	5. 00	_	_	_	

(チ) 付加車線の標準幅員 3.50 メートル

(リ) 中央帯の標準幅員 4.50 メートル (土工部)

4.50 メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
	三重県員弁郡東員町大字 長深	立体接続	東員インターチェンジ
近畿自動車道 名古屋神戸線	三重県四日市市北山町	 立体接続	 新四日市ジャンクション

(4) 工事予算

2,982 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

イ 三重県員弁郡東員町大字長深

平成 27 年 1 月 1 日

口 三重県員弁郡東員町大字長深

平成 27 年 4 月 1 日

ハ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで (東員IC Dランプ部)

平成 27 年 4 月 1 日

二 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで (東員IC Eランプ部)

平成 27 年 6 月 1 日

ホ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで (東員IC A・Dランプ部)

平成 27 年 7 月 15 日

へ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで (上り線:No.18+0.0~No.7+12.0) 平成 27 年 4 月 1 日

(東員IC地下通路部)

(東員IC料金所部)

別	紙	
HII	金田	
71'1	/PLL	

ト 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで (上り線:No.7+12.0~STA. 3+40.0) 平成 27 年 7 月 15 日

チ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで (下り線: No.18.+0.0~STA, 3+40.0) 平成 27 年 7 月 15 日

リ 三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで 平成 27 年 4 月 1 日

(新四日市JCT B・Dランプ)

ヌ 三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで 平成 27 年 12 月 1 日

(新四日市JCT Dランプ)

ル 三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで 平成 27 年 12 月 1 日

(新四日市JCT Dランプ)

ヲ 三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで 平成 27 年 12 月 1 日

(新四日市JCT Dランプ)

ワ 三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで 平成 30 年 7 月 1 日

(新四日市JCT Bランプ)

なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が、一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日平成 28 年 8 月 11 日 (供用開始)平成 31 年 3 月 30 日 (残事業完成)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3,131 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 2,974 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中央自動車道 富士吉田線

(東京都三鷹市北野から東京都世田谷区大蔵まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道 富士吉田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間東京都三鷹市北野から東京都世田谷区大蔵まで

(ロ) 延 長 6.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 直轄事業と有料道路事業による事業方式

(ロ) 道路の区分 第2種第1級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
東京都三鷹市北野	から	80	6. 4	
東京都世田谷区大蔵	まで	30	0. 4	

- (二) 設計自動車荷重 245kN (B活荷重)
- (木) 車線の幅員 3. 25メートル

(へ)車線数

設計 区間		工事施工	用地買収	摘 要
東京都三鷹市北野	から	6 車線	6 車線	
東京都世田谷区大蔵	まで	O 十 柳	0 + n/m	

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離し	ない区間	往	復分離する区間		摘 要
	左 側	計	左 側	右側	計	10 女
土工(掘割)部分						
トンネル部分			2. 50	0. 75	3. 25	
橋梁高架部分 (中小橋)						
橋梁高架部分 (長大橋)						

	火工	- 1
別	紙	- 1

- (チ) 付加車線の標準幅員 --- メートル
- (リ) 中央帯の標準幅員

メートル (土工部)メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
関越自動車道	東京都三鷹市北野	平面接続	本線
新潟線			
中央自動車道	東京都三鷹市北野	立体接続	中央ジャンクション(仮称)
富士吉田線			
第一東海自動車道	東京都世田谷区大蔵	立体接続	東名ジャンクション(仮称)

(4) 工事予算

380, 164 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日
 - イ 東京都三鷹市北野から東京都世田谷区喜多見 平成 30 年 10 月 1 日
 - 東京都世田谷区成城から東京都世田谷区喜多見平成 24 年 5 月 17 日
 - ロ'東京都世田谷区成城から東京都世田谷区喜多見 平成 30 年 10 月 1 日
 - ハ 東京都世田谷区喜多見から東京都世田谷区大蔵 平成 24 年 5 月 17 日
 - 二 東京都三鷹市北野から東京都世田谷区喜多見 平成 29 年 3 月 1 日
 - ホ 東京都調布市東つつじヶ丘から東京都世田谷区喜多見 平成 29 年 3 月 1 日
 - ・なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が直轄事業者から事業引き継ぎを受ける予定年月日をいう。
 - ②工事の完成予定年月日 平成 33 年 3 月 31 日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

416,922 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 396,076 百万円)(消費税込み)

別紙1-85

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

近畿自動車道伊勢線

(愛知県名古屋市中川区島井町から愛知県海部郡飛島村木場まで)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 伊勢線

(2) 工事の箇所

(イ) 工事の区間 愛知県名古屋市中川区島井町 から 愛知県海部郡飛島村木場 まで

(ロ) 延 長 12.2キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 直轄事業と有料道路事業による事業方式

(ロ) 道路の区分 第2種第1級(道路構造令)

(ハ)設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘要
愛知県名古屋市中川区島井町か	60	12. 2	
愛知県海部郡飛島村木場 ま [・]		12. 2	

- (二) 設計自動車荷重 245kN(B活荷重)
- (ホ) 車線の幅員 3.50 メートル

(へ) 車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘 要
愛知県名古屋市中川区島井町 た	ら 4 車線	4 車線	
愛知県海部郡飛島村木場	で	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

(ト) 路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	10 女
土工(掘割)部分	-	-	_	_	I	
トンネル部分	_	_	_	_	ı	
橋梁高架部分 (中小橋)	_	_	_	_	_	
橋梁高架部分 (長大橋)	1. 25×2	2. 50	_	_	_	

(チ) 付加車線の標準幅員 – メートル

(リ) 中央帯の標準幅員 - メートル (土工部)

2. 25 メートル (橋梁部)

(ヌ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
近畿自動車道 名古屋亀山線	愛知県名古屋市中川区島 井町	平面接続 及び立体接続	名古屋西ジャンクション
市道高速1号 (名古屋高速道路)	愛知県名古屋市中川区島 井町	立体接続	名古屋西ジャンクション
一般国道302号	愛知県名古屋市中川区服 部	立体接続	名古屋西ジャンクション南インター チェンジ(仮称)
一般国道302号	愛知県名古屋市中川区か の里及び愛知県名古屋市 港区西蟹田	立体接続	富田インターチェンジ(仮称)
一般国道302号	愛知県名古屋市港区南陽 町大字茶屋新田	立体接続	南陽インターチェンジ(仮称)
一般国道302号	愛知県海部郡飛島村大字 梅之郷	立体接続	名四西インターチェンジ(仮称)
近畿自動車道 名古屋神戸線	愛知県海部郡飛島村木場	立体接続	飛島ジャンクション(仮称)
一般国道302号 (伊勢湾岸道路)	愛知県海部郡飛島村木場	立体接続	飛島ジャンクション(仮称)

(4) 工事予算

120, 725 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

- イ 愛知県名古屋市中川区島井町 から 愛知県名古屋市中川区島井町 まで 平成 24年 5月 1日
- ロ 愛知県名古屋市中川区島井町 から 愛知県名古屋市中川区服部 まで 平成 29年 8月 23日
- ハ 愛知県名古屋市中川区服部 から 愛知県名古屋市中川区供米田 まで 平成 30年 4月 1日
- 二 愛知県名古屋市中川区供米田 から 愛知県名古屋市中川区かの里 まで 平成 32年 4月 1日
- ホ 愛知県名古屋市中川区かの里 から 愛知県名古屋市港区南陽町 まで 平成 30年 4月 1日
- へ 愛知県名古屋市港区南陽町 から 愛知県海部郡飛島村大字梅之郷 まで 平成 29年 8月 23日
- ト 愛知県海部郡飛島村大字梅之郷 から 愛知県海部郡飛島村大字梅之郷 まで 平成 32年 4月 1日
- チ 愛知県海部郡飛島村大字梅之郷 から 愛知県海部郡飛島村木場 まで 平成 29年 8月 23日

別 紙 1

- リ 愛知県海部郡飛島村木場 から 愛知県海部郡飛島村木場 まで 平成 29年 8月 23日
- ヌ 愛知県海部郡飛島村木場 から 愛知県海部郡飛島村木場 まで 平成 24年 5月 1日

・なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、 会社が直轄事業者から事業引き継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

131, 910 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 126,284 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(横浜青葉JCT)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の箇所

神奈川県横浜市青葉区下谷本町

(3) 工事方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
横浜市道高速横浜環状北西線	神奈川県横浜市	立体接続	横浜青葉ジャンクション(仮称)
(首都高速道路)	青葉区下谷本町		

	公口	- 1
別	紙	- 1

(4) 工事予算

461 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日

平成 24年 5月 1日

②工事の完成予定年月日

平成 32 年 7 月 24 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

518 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(甲府中央スマートIC)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

中央自動車道 西宮線

(2) 工事の箇所

山梨県甲府市大津町

(3) 工事方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
県道29号甲府中央右左口線	山梨県甲府市 大津町	立体接続	甲府中央スマートインターチェンジ(仮称)

	4H	
別	紙	- 1

- (4) 工事予算
 - 3,347 百万円(消費税込み)
- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日 平成 26年 9月 1日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 32年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額
 - 3,656 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(小黒川スマートIC)に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

中央自動車道 西宮線

(2) 工事の箇所

長野県伊那市西町

(3) 工事方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
市道I1683号線、市道I1684号線、	長野県伊那市西町	立体接続	小黒川スマートインターチェンジ
市道I1685号線、市道I1686号線			

	4T	
別	紙	- 1

(4) 工事予算

807 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 26年 9月 1日

②工事の完成予定年月日 平成 29年 9月 30日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

898 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(駒ヶ岳スマートIC)に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

中央自動車道 西宮線

(2) 工事の箇所

長野県駒ヶ根市赤穂

(3) 工事方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
市道1-1105号線及び	長野県駒ヶ根市赤穂	立体接続	駒ヶ岳スマートインターチェンジ
市道1-1106号線			

別 紙 1

(4) 工事予算

996 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 26年 9月 1日

②工事の完成予定年月日 平成 30年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,087 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道横浜名古屋線(山北スマートIC)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

(2) 工事の箇所

神奈川県足柄上郡山北町川西

(3) 工事方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
町道10号河内川谷戸線	神奈川県足柄上郡	立体接続	山北スマートインターチェンジ(仮称)
	山北町川西		

別 紙 1

(4) 工事予算

752 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 26年 9月 1日

②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

849 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(厚木PAスマートIC)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

一般国道468号

(有料道路名 : 首都圏中央連絡自動車道)

(2) 工事の箇所

神奈川県厚木市山際から

神奈川県厚木市関口まで

(3) 工事方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
市道2-46号線及び	神奈川県厚木市山際及び	立体接続	厚木PAスマートインターチェンジ(仮称)
市道B-266号線	神奈川県厚木市関口		

	4H	
別	紙	- 1

- (4) 工事予算
 - 1,275 百万円(消費税込み)
- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日 平成 26年 9月 1日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 31年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額
 - 1,396 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

一般国道475号(東海環状自動車道)(海津スマートIC)に関する 工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

一般国道475号

(有料道路名: 東海環状自動車道)

(2) 工事の箇所

岐阜県海津市南濃町志津新田

(3) 工事方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
(仮称)海津34421号線	岐阜県海津市	立体接続	海津スマートインターチェンジ(仮称)
	南濃町志津新田		

	タエ	- 4
別	紙	- 1

(4) 工事予算

837 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 26年 9月 1日

②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

947 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道横浜名古屋線(秦野SAスマートIC)に関する 工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

(2) 工事の箇所

神奈川県秦野市横野 から 神奈川県秦野市戸川 まで

(3) 工事方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
市道144号線及び市道146号線	神奈川県秦野市横野及び戸川	立体接続	秦野SAスマートインターチェンジ(仮称)

別 紙 1

(4) 工事予算

713 百万円(消費税込み)

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日 平成 27年 8月 26日

②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

799 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(座光寺スマートIC)に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

中央自動車道 西宮線

(2) 工事の箇所

長野県飯田市座光寺地先

(3) 工事方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
市道座光寺280号線	長野県飯田市座光寺地先	立体接続	座光寺スマートインターチェンジ(仮称)
市道座光寺281号線			

別 紙 1

(4) 工事予算

1.363 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日 平成 28年 6月 24日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1.563 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(足柄スマートIC)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の箇所

静岡県駿東郡小山町

(3) 工事方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
町道2451号線及び2452号線	静岡県駿東郡小山町桑木地内	立体接続	足柄スマートインターチェンジ(仮称)

	化厂	
別	紙	

(4) 工事予算

1,437 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日 平成 28年 6月 24日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 31年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1.580 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(駒門スマートIC)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の箇所

静岡県御殿場市駒門 から 静岡県御殿場市町屋 まで

(3) 工事方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
市道3697号線及び3698号線	静岡県御殿場市駒門及び町屋	立体接続	駒門スマートインターチェンジ(仮称)

	化厂	
別	紙	

(4) 工事予算

949 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日 平成 28年 6月 24日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 32年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1.053 百万円(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

北陸自動車道(上市スマートIC)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

(1) 路線名

北陸自動車道

(2) 工事の箇所

富山県中新川郡上市町江上 から 富山県中新川郡上市町東江上 まで

(3) 工事方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
(仮称)上市インター南線 及び(仮称)上市インター北線	富山県中新川郡上市町中江上 及び富山県中新川郡上市町東江上	立体接続	上市スマートインターチェンジ(仮称)

別 紙 1

(4) 工事予算

1.697 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日 平成 28年 6月 24日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 32年 12月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1.974 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 — 百万円)(消費税込み)

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道138号(東富士五湖道路)(富士吉田南スマートIC)に関する 工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道138号(東富士五湖道路)

(2) 工事の箇所

山梨県富士吉田市上吉田

(3) 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
市道農場線	山梨県富士吉田市上吉田	立体接続	富士吉田南スマートインターチェンジ(仮称)

別 紙 1

(4) 工事予算

2.066 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日 平成 28年 6月 24日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2.327 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 — 百万円)(消費税込み)

別紙1-99

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び4号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(豊橋PA(下り線))に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

	化口	
別	紙	

- 1. 工事の内容
 - (1) 路線名

第一東海自動車道

(2)工事の箇所

愛知県豊橋市

- (3) 工事予算
 - 1,882 百万円(消費税込み)
- (4) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手年月日 平成 29 年 5 月 13 日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 31 年 3 月 31 日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2,054 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 1,951 百万円)(消費税込み)

別紙1-100

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(神坂スマートIC)に関する 工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道 西宮線

(2) 工事の箇所

岐阜県中津川市神坂地内

(3) 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
市道神坂44号線、 市道神坂45号線	岐阜県中津川市神坂地内	立体接続	(仮称)神坂スマートインターチェンジ

	4H	
別	紙	- 1

(4) 工事予算

1,246 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日 平成 29年 8月 31日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 34年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,413 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 — 百万円)(消費税込み)

別紙1-101

(協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道横浜名古屋線(刈谷スマートIC)に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

(2) 工事の箇所

愛知県刈谷市東境町地内

(3) 工事方法

(イ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の	接続の位置	接続の方法	備考
路線名			
市道01-41号線	愛知県刈谷市東境町地内	立体接続	(仮称)刈谷スマートインターチェンジ

	4H	
別	紙	- 1

(4) 工事予算

1,280 百万円(消費税込み)

- (5) 工事の着手および完成の予定年月日
 - ①工事の着手(予定)年月日 平成 29年 8月 31日
 - ②工事の完成予定年月日 平成 34年 3月 31日
- 2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,447 百万円(消費税込み)

(うち、助成対象基準額 — 百万円)(消費税込み)

別紙3を次のとおり改める。

別紙3

(協定第5条第2項関連)

(機構法第13条第1項第4号に定める協定記載事項)

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

		(消費税込み)
年度	債務引受限度額	
H 1 8	14,696百万円	
H 1 9	24,995百万円	
H 2 0	27,416百万円	
H 2 1	32,076百万円	
H 2 2	21,467百万円	
H 2 3	19,581百万円	
H 2 4	31,785百万円	
H 2 5	48,923百万円	
H 2 6	33, 108百万円	
H 2 7	106,065百万円	
H 2 8	59,505百万円	
H 2 9	92,467百万円	
H 3 0	84,843百万円	
H 3 1	103, 153百万円	
H 3 2	94, 774百万円	
H 3 3	66, 352百万円	
H 3 4	37, 127百万円	
H 3 5	53, 318百万円	
H 3 6	76,087百万円	
H 3 7	37,830百万円	
H 3 8	38,408百万円	
H 3 9	38, 201百万円	
H 4 0	38,165百万円	
H 4 1	38, 263百万円	
H 4 2	39, 798百万円	
H 4 3	38,980百万円	
H 4 4	40,346百万円	
H 4 5	38,898百万円	
H 4 6	38,987百万円	
H 4 7	38,912百万円	
H 4 8	39,008百万円	
H 4 9	39, 298百万円	
H 5 0	38,816百万円	
H 5 1	38,861百万円	
H 5 2	38,874百万円	
H 5 3	38,867百万円	
H 5 4	38,899百万円	
H 5 5	39, 274百万円	
H 5 6	38,722百万円	
H 5 7	38, 595百万円	
H 5 8	38,599百万円	
H 5 9	38,570百万円	
H 6 0	38,644百万円	
H 6 1	38, 461百万円	
H 6 2	38,847百万円	
H 6 3	38,899百万円	
H 6 4	38,949百万円	
H 6 5	39, 428百万円	
H 6 6	38,842百万円	
H 6 7	38,696百万円	
H 6 8	38, 640百万円	
H 6 9	38, 579百万円	
H 7 0	38,651百万円	
H 7 1	29, 422百万円	
	, 2	

⁽注1) 平成18年度から平成28年度までは実績値を記載している。

⁽注2) 上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙4を次のとおり改める。

別紙4

(協定第6条第1項関連)

(機構法第13条第1項第5号に定める協定記載事項)

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

(消費税込み)

別紙5を次のとおり改める。

別紙5

(協定第7条第1項関連) (機構法第13条第1項第6号に定める協定記載事項)

無利子貸付けの貸付計画

中日本高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
十 <u>長</u> H26	
H27	8百万円
	119百万円
H28	310百万円
H29	1, 071百万円
H30	956百万円
H31	2, 984百万円
H32	2, 308百万円
H33	763百万円
H34	0百万円
H35	0百万円
H36	0百万円
H37	0百万円
H38	0百万円
H39	0百万円
H40	0百万円
H41	0百万円
H42	0百万円
H43	0百万円
H44	0百万円
H45	0百万円
H46	0百万円
H47	0百万円
H48	0百万円
H49	0百万円
H50	0百万円
H51	0百万円
H52	0百万円
H53	0百万円
H54	
	0百万円
H55	0百万円
H56	0百万円
H57	0百万円
H58	0百万円
H59	0百万円
H60	0百万円
H61	0百万円
H62	0百万円
H63	0百万円
H64	0百万円
H65	0百万円
H66	0百万円
H67	0百万円
H68	0百万円
H69	0百万円
H70	0百万円
H71	0百万円
1	ケー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

別紙6を次のとおり改める。

(協定第9条第1項関連)

(機構法第13条第1項第7号に定める協定記載事項)

道路資産の貸付料の額

	г	T	貸付料		
年度			1	構築物等分	
		うち土地・家屋分		うち盛土・切土・ のり面構造物等分	うち橋梁・ トンネル等タ
	(472, 195百万円)	(86, 431百万円)	(307, 137百万円)	(81, 338百万円)	(225, 799百万
H 1 8	484, 094百万円	74, 294百万円	316,083百万円	69, 250百万円	246, 833百
H 1 9	(482, 966百万円)	(96, 496百万円)	(342, 904百万円)	(90,810百万円)	(252, 094百万
піэ	484, 615百万円	80,890百万円	344, 144百万円	75,398百万円	268, 746百
H 2 0	(466, 881百万円)	(94, 180百万円)	(334, 674百万円)	(88, 630百万円)	(246, 044百万
1120	456, 343百万円	76,802百万円	326, 751百万円	71,587百万円	255, 164百
H 2 1	(355, 494百万円)	(70,563百万円)	(250, 751百万円)	(66, 405百万円)	(184, 346百万
	329, 680百万円	54,376百万円	231, 341百万円	50,684百万円	180, 657百
H 2 2	(350, 323百万円)	(69, 626百万円)	(247, 421百万円)	(65, 524百万円)	(181, 897百万
	340, 782百万円	52,677百万円	224, 113百万円	49, 100百万円	175, 012百
H 2 3	(352, 605百万円)	(57, 106百万円)	(242, 956百万円)	(53, 229百万円)	(189, 727百万
	355, 511百万円 (346, 816百万円)	57,620百万円 (55,233百万円)	245, 142百万円 (234, 987百万円)	53,708百万円 (51,483百万円)	191, 434百 (183, 504百万
H 2 4	365, 770百万円	58, 584百万円	249, 243百万円	54,606百万円	194, 637百
	(348, 386百万円)	(44, 204百万円)	(188, 066百万円)	(41, 203百万円)	(146, 863百万
H 2 5	376, 626百万円	53, 781百万円	228, 811百万円	50,130百万円	178, 682百
	(441, 426百万円)	(62, 649百万円)	(266, 540百万円)	(58, 396百万円)	(208, 144百万
H 2 6	496, 478百万円	77,803百万円	331, 014百万円	72,521百万円	258, 492百
1107	(454, 427百万円)	(63, 317百万円)	(269, 384百万円)	(59,019百万円)	(210, 365百万
H 2 7	516, 780百万円	71,890百万円	305,855百万円	67,009百万円	238, 846百
H 2 8	(487, 216百万円)	(71,833百万円)	(305, 612百万円)	(66, 956百万円)	(238, 656百万
пио	517, 367百万円	77, 156百万円	328, 260百万円	71,918百万円	256, 342百
H 2 9	501,944百万円	60,359百万円	256, 796百万円	56, 261百万円	200, 535百
H 3 0	478, 505百万円	55, 796百万円	237, 381百万円	52,007百万円	185, 374百
H 3 1	477, 497百万円	51, 232百万円	217, 967百万円	47, 754百万円	170, 213百
H 3 2	476, 255百万円	50, 227百万円	213, 691百万円	46,817百万円	166, 874百
H 3 3	482,059百万円	56,982百万円	242, 427百万円	53, 113百万円	189, 314百
H 3 4	486, 868百万円	63,534百万円	270, 304百万円	59, 220百万円	211, 084百
H 3 5	490, 531百万円	61, 246百万円	260, 570百万円	57,088百万円	203, 482百
H 3 6	487, 821百万円	55,947百万円	238, 027百万円	52,149百万円	185, 878百
H 3 7 H 3 8	488, 542百万円	62,030百万円 62,150百万円	263,904百万円	57,818百万円	206, 086百
H39	487, 661百万円 488, 121百万円	61, 998百万円	264, 418百万円 263, 769百万円	57,931百万円 57,789百万円	206, 487百
H 4 0	485, 552百万円	60,066百万円	255, 550百万円	55, 988百万円	199, 562百
H 4 1	484, 255百万円	66, 958百万円	284, 870百万円	62, 412百万円	222, 458百
H 4 2	482, 928百万円	78, 200百万円	332, 702百万円	72,891百万円	259, 811首
H 4 3	480, 133百万円	77,851百万円	331, 215百万円	72,565百万円	258, 650百
H 4 4	473, 918百万円	76,511百万円	325, 516百万円	71, 317百万円	254, 199百
H 4 5	469, 145百万円	75, 924百万円	323,016百万円	70, 769百万円	252, 247百
H 4 6	465,012百万円	75, 177百万円	319,840百万円	70,073百万円	249, 767百
H 4 7	462, 377百万円	74, 725百万円	317, 917百万円	69,652百万円	248, 265百
H 4 8	456, 743百万円	73,712百万円	313,608百万円	68, 708百万円	244, 900百
H 4 9	452,856百万円	72,974百万円	310, 468百万円	68,020百万円	242, 448百
H 5 0	448,884百万円	72, 357百万円	307,843百万円	67, 445百万円	240, 398百
H 5 1	445, 973百万円	71,835百万円	305, 620百万円	66, 958百万円	238, 662百
H 5 2	439,865百万円	70,753百万円	301,018百万円	65, 949百万円	235, 069百
H 5 3	435, 733百万円	70,024百万円	297, 917百万円	65, 270百万円	232, 647百
H 5 4 H 5 5	432, 110百万円 429, 632百万円	69, 378百万円 68, 874百万円	295, 169百万円 293, 023百万円	64,668百万円 64,198百万円	230, 501百
H 5 6	424, 101百万円	67, 994百万円	289, 279百万円	63, 378百万円	228, 825日
H 5 7	424, 101百万円	67, 201百万円	289, 279百万円	62,639百万円	223, 901百
H 5 8	415, 471百万円	66, 491百万円	282, 883百万円	61,976百万円	220, 209百
H 5 9	412, 961百万円	66, 052百万円	281, 018百万円	61,568百万円	219, 450百
H 6 0	407, 662百万円	65, 103百万円	276, 978百万円	60, 683百万円	216, 295首
H 6 1	404, 022百万円	64, 491百万円	274, 378百万円	60, 113百万円	214, 265百
H 6 2	399, 436百万円	63, 613百万円	270, 640百万円	59, 294百万円	211, 346百
H 6 3	396, 584百万円	63, 100百万円	268, 457百万円	58,816百万円	209, 641百
H 6 4	391, 197百万円	62, 139百万円	264, 369百万円	57, 920百万円	206, 449百
H 6 5	386, 740百万円	61,266百万円	260, 657百万円	57, 107百万円	203, 550百
H 6 6	382, 284百万円	60,582百万円	257, 746百万円	56, 469百万円	201, 277首
H 6 7	379,028百万円	60,033百万円	255, 409百万円	55, 957百万円	199, 452百
H 6 8	373,847百万円	59, 127百万円	251,556百万円	55, 113百万円	196, 443百
H 6 9 H 7 0	369,802百万円	58, 423百万円	248, 560百万円	54, 457百万円	194, 103百
	365,907百万円	57,722百万円	245, 577百万円	53,803百万円	191, 774百

別紙7を次のとおり改める。

(協定第10条第1項関連)

計画料金収入の額

中日本高速道路株式会社における計画料金収入

	(消費税込み)
年度	計画料金収入
1110	(589, 562百万円)
H 1 8	607, 357百万円
H 1 9	(599, 122百万円)
	606, 762百万円
H 2 0	(585, 472百万円)
	569, 080百万円 (477, 225百万円)
H 2 1	446,639百万円
H 2 2	(475, 906百万円)
ПИИ	461,606百万円
H 2 3	(474, 594百万円)
	482, 245百万円
H 2 4	(476, 380百万円) 500, 097百万円
	(480, 109百万円)
H 2 5	513, 150百万円
	(579, 896百万円)
H 2 6	640, 747百万円
H 2 7	(599,015百万円)
1,2,	667, 358百万円
H 2 8	(641, 255百万円)
	677, 818百万円
H 2 9	656, 484百万円
H 3 0	633, 662百万円 635, 229百万円
H 3 2	634, 723百万円
H 3 3	640, 131百万円
H 3 4	643, 891百万円
H 3 5	647, 049百万円
H 3 6	643, 859百万円
H 3 7	642, 565百万円
H 3 8	641, 356百万円
H 3 9	641,889百万円
H 4 0 H 4 1	638, 933百万円 637, 725百万円
H 4 2	636, 513百万円
H 4 3	633, 886百万円
H 4 4	627, 809百万円
H 4 5	623, 455百万円
H 4 6	619, 100百万円
H 4 7	616, 420百万円
H 4 8	610, 390百万円
H 4 9	606, 036百万円
H 5 0	601, 683百万円 598, 959百万円
H 5 2	592, 976百万円
H 5 3	588, 622百万円
H 5 4	584, 272百万円
H 5 5	581, 499百万円
H 5 6	575, 564百万円
H 5 7	571, 213百万円
H 5 8	566, 861百万円
H 5 9	564, 042百万円 558, 157西万円
H 6 1	558, 157百万円 553, 806百万円
H 6 2	549, 450百万円
H 6 3	546, 618百万円
H 6 4	540, 856百万円
H 6 5	536, 609百万円
H 6 6	532, 396百万円
H 6 7	529, 653百万円
H 6 8	524, 071百万円
H 6 9	519, 958百万円
H 7 0	515, 877百万円 203, 124百万円
H71	393,124百万円 ら平成28年度までの上段()内は計画値、下段は実績値を記載している。

(注1) 平成18年度から平成28年度までの上段() 内は計画値、下段は実績値を記載している。

別紙8を次のとおり改める。

別紙8中、1.(1)②(ロ)を次のとおり改める。

	10000000000000000000000000000000000000	### 17 (7.74 m)	715,778	7206,234	2007.178	7773,149	366,035
	(100 m) (100 m	δ. 80	2013,620	7202220	N100.234	7760286	2687,876
	1,201,607 1,201,607 1,201,607 1,600,005 1,600,005 1,600,007 1,600,		- 1 - 1	6787.433	359,922.	3347323	7523.149
	0.001.000 0.001.000 0.001.000 0.001.000 0.000.00	<u> </u>	\rightarrow	0485271	\perp	\perp	7298.112
	200 mm	<u> </u>	\rightarrow	2017100	\perp	\rightarrow	2062-908
	(00000) A (00000	<u> </u>	\rightarrow	0 115,741 0	\perp	\rightarrow	200,000
	400.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	<u> </u>		0022340 01	\perp		170,889
	42000000000000000000000000000000000000	<u> </u>	\rightarrow	528,112 60	\perp	\perp	600,652 67
	0 0 % - 7 0 7 0	<u> </u>		5440,035 53			0.00.005 64
	100000 1000000 10000000000000000000000	<u> </u>	\rightarrow	5182038 54	ш		902.23
	300-200 333 300-200 330 330 330 330 330 330 330 330 330		- 1 - 1		1 1		901100
	100 (200) 100 (200)			50,000	\perp		550,146
	200 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00			470,034 470		\perp	500 000
		<u></u>	\rightarrow		ш		5310.183 5440
	766 300403 100 300403 101 300403 101 300403 101 400403 101 400403				ш	\perp	_
	128 24.20205 128 24.20205 129 240 24.20205 129 24.20205 120 24.20205 120 24.20205 120 24.20205 1		\perp	100000	\perp	\rightarrow	687.93
	18864 120200 12020 1		\perp	1920291	\perp	\rightarrow	506,555
	25 120402 2301000 2301000 2301000 240 120402 240 120403 240 120403 240 120403 240 120403		\perp	46 41750	ш		190 4954.134
	12 310028 12 310028 13 33930 13 33020 13 30048 14 330830 15 330830 16 330830 17 330830 18 330830 18 330830 18 330830			77 400045		\perp	4910190
	4 246.12 4 3414.12 4 3414.12 4 3414.13 4 346.13 4 346.13 4 346.13 4 346.13 4 346.13 4 346.13	<u> </u>		20120	\perp	\rightarrow	68 4602088
	2 246231 2 246231 2 246234 2 232206 2 233200 2 242203 2 245233 2 246233 2 246233	131		2002 (48	\perp	\rightarrow	100000
	2 235013 1 205023 1 205013 2 205116 2 205016 2 205016 2 205016 2 205016 1 205063 1 205063 1 205063 1 205063 1 205063 1 205063	-5		4 200,443	\perp		20100
	7-(10+9) 10 278,400 0 278,271 17 250,276 0 100,400 0 130,400 0 130,400 0 130,400 0 130,400 0 130,400 0 130,400			40,000	\perp	\perp	200.650
	2000/05 2000/0			AU. 1222	\perp		4296232
	#85 2/26/403 2/26/403 2/26/403 2/20/203 2/1/204 2/1/20	<u> </u>	-	2214.544	\perp		2018/2012
	200010 2274221 2274221 2477453 2317293 2317293 2317293 2317293 2317293	<u> </u>		3051316	\perp		2700.804
	200216 20		-	MIGG	\perp		55-6122
	ER 139264 139264 139264 233264 244314 244314 244314 233269 234153	я	2337,668	257,446	3636365	2172424	2011/244
	246720 2246720 2246720 2246720 2246720 2246720 2246720 2246720	*	2244.02	2455513	2082,404	2012.440	3192,900
	100,000 100,00	Service and the service and th	100,004	2024.502	2461.696	2644,922	2764640
	131000 131000 131000 131000 130003 130003 130003 130003	400	1918245	2107,176	254452	9605.104	2940204
	14204 1474 1574 1574 1574 1574 1574 1574 157	N N	1735.130	1077.004	2994000	2117364	2912.152
	BR1428 1380465 1400483 1410289 1410289 1410289 1410089 2440238	\$	159,283	1720,262	8527625	2340.211	2523.409
	118 1,13004 1,13004 1,0000 1,0	9.0	1431.168	3000031	2009.002	2131024	2055,144
	877 (11584) (2000) (2000) (2000) (2000) (2000)	9	100,000	907961	391768	2134,524	2281387
	#9# 2000 2000	2.7 € 10.7 10.7 10.7 10.7 10.7 10.7 10.7 10.7	181782	24220	679-636	255,032	-977840
	#666.08 c service control cont		110,000	127260	1394,144	1915/15	101210
	90.00 300.00 300.00 300.00 100.00 120.00 120.00 130		100 E100 E100 E100 E100 E100 E100 E100	1122,112	1584003	2127111	1692,163
	248 (0100) (0100) (1700) (1700) (1700) (1700) (1700)	5	745,962	200760	100	1540.000	1685040
	### CD4000 ATAV00 BTAV00 BTAV0		611.00	907'900	1246,192	1306.234	1543,344
	200 at 20	au a	34540	2291472	94.10	1141,872	1588.500
	200214 200214 200214 200320 200320 200220 200220 200220	B 0 0	20.202	607.202	525-525	1852.82	1227,680
	133,000 133,000 193,000 193,000 133,000 133,000 193,00	<u> </u>	125,000	236.112	175524	120,028	1031031
	40000 19000 19000 19000 19000 19000 19000	ı	\rightarrow	20043	100,100	01000	180.081
	2002 1002 1002 1002 1002 1002 1002 1002		å	120	\perp	748,007	985,048
	41 200 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00		l	+		\perp	712,890
MP 64 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	1200000 1200000 1200000	8860 8700 9800 9800 9800		Ľ	ш		40.237
"5	2000 March A 2000 March 2000 Marc				2	\perp	230712
# C #		<u> </u>			Į		188815
3		() () () () () () () () () ()				4	MtS
Ĺ	<u> </u>	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #				L	┙
at a							

8.50

The color										
The color The	#84		20,2140	1131,556	1,004,020	8.717,700	9085,406	91180,558	9217599	9.302,519
The color The	XEEK	411.111	200	6391,346	6,004,030	8,717,803	100,000	8180338	8,217,993	8.353,819
International column International column	11000	1 871 830	7.000.0	7,549,140)	0.125,000	6337283	8452,738	6,8006.9	0.837.963	04123180
A		╀	4	4		_	_	_	-	
The continue of the continue	0		4	_	_	_		_		
The column The		╄	4	_		_	_	_	-	
Note		┸	4					_		
Image: Column Image: Colum	141	┸								
Section Sect	200	┸	4							
The column Column	110,000	┸	_	_						
This column	1000年 お光度工	┸	- 1	- 1				1001		
This is a part This	48.30		4	_		_		_	-	
The column Column		+				_				
This column	505540	1	ш	- 1		_		_		
		ш	_							
This color		╀	_					_		
The column The		╀	_			_	_	_		
The column The		L	\perp							
The column The		NA 1007 A	_							
This color	457MM	┸	4							
This color	2000	╀				_		_	\mathbf{L}	
This color	000000	1						_		
This color Thi		┸	1	_						
Marie Mari		L				_		L		
Marie Mari		Ľ	_					6616200	4625233	4329310
Marie Mari		T AND ADD	ш				40,000	4301803	4340459	4514237
The column Column	200	1000000	A TORREST	3266-673	2,320,631	35.0055	3839798	2370,334	1000.011	4.791,838
Marie Mari	1.48			2844547	3,045,095	3274,007	3589,632	3,734,009	2173,073	3347,463
Marie Mari		1488700	00007	2/45/204	2,016,014	3132516	37442990	3,586.159	3,633,094	3.136,512
The column The		100000	10.000	2394,002	3,465,510	2674512	2568,796	3135000	2172920	2,347,958
Math		1111111	77.170	2277289	1,400,111	2,707,813	1,022,899	3,160,035	1207091	1350 1999
The color of the		11000			2,322,535	2,421,535	2306,880	2,552,003	2301008	23394382
The color of the		1 100000		1895,164	2,116,093	2325034	2,640,257	2,325,544	2824512	2888.093
Marie Mari		100,000			1,914,112	2122117	2438,911	2,543,603	2632388	2.196.112
The color of the		╄	-	_	_	_		_		
Marie Mari		100	1	1,420,502	1401320	1,700,052	2016,826	2,160,004	2199430	2,377,438
Marie Mari		1_	1300.00	134950	1,502,419	1,772,419	2387419	2,222,831	2271.830	2,645,675
March Marc		1,000,000	1	1231,083	1,322,534	1531235	1,544,512	1,992,043	2,001,014	2234282
Marie Mari	5		_		1,100000	1,318,002	1,654,268	1,773,524		13922048
March Marc	200	100.00	7607	718,107	235,202	_		1,608.463		1,522,013
1	HOH	200.000	2	410,018	621.766	_		_		1,512,524
Mat	8008	100000		340,570	560.519	200430		_	1,000,180	
March Marc		1) Euro	155,080	333,754	\$117715				
1		L	_	OR GOOD	2004	279,2750	638753	_		
100 100			L	200	181			915214	028,850	1.092,098
15 15 15 15 15 15 15 15				Ĺ		-				
April Apri					ļ	-				
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							=	\vdash		
9 E								Ľ	2002	
									Ĺ	
										20

大型車

9770

			9				-		ı					- 8		0				-		- 8		es	ı	- 81	0	
### A	14,000,000	71.034.302	19.815,006	31,292,406	21.003148	2.392,511	27,466,13	2,006,400		整備者の	4200377	0062917		ARR 0+2723	7,946,777	1476.000		### ###	9,392,511	1823195		Ame. 0405000	13,000,511	2236.112		本部をフラスを	21,000,400	4005,000
*825	18024350	11.251.542	18,545,902	21,022,884	990'916'12	21,075,033	21167302	10022315		XEEK	116,022,931	1015,126		3300	3,767,776	1,256,4039		XXXX	1,344,851	088191		323×	12,946,(70	825 680 2		*8.84	21415,034	1457,522
43988	18,000,000	15215,122	18529152	10,000,114	19,300,16	202002494	201023122	20,300,334		4000	110,888	217,538		neam	7,418,176	897.639		11,746.00	8.922261	1,075,000		15/17/06/00	12,340,130	1,480,123		小び寄算	20,400334	2,457,872
2888	17,217,553	17,592,435	17,773,149	10,235,112	16,975,032	10249201	19429353	192702185		MARK	6720283	60,039		33,53	T.1552,633	632632		2059	8,590,00	121,515		8500	11,311,683	1,002,003		nasa	19,686,193	1293489
新田奈田	10,745,201	17,003,272	17,500,004	17,783,009	0009/20101	34504000	18,947,582	19,337,963		2000年	0004000	887303		200	7,006,006	664138		THE AMERICAL PROPERTY AND ADDRESS OF TAXABLE PARTY.	811792778	1207.03		MEAN AND A	11,528,409	1102/017		300 Em	19,054,014	1231,292
2382	14,217,550	14,555,7003	98773149	21,286,112	230,819,51	1834,1223	18,458,915	30121021		Sec.	3,474,189	257,814		382	4,542,738	857.28		200	8211268	386122		ODER.	11,273,140	110252		282	12,017,524	200700
NABOR 2.2715	CONTRACTO	16,254,833	16409315	16,000,779	17,643,519	12313,559	18108482	11,478,852		2000 E	1,750,834	177,220		27年2	6742,289	221400		School N	1010142	C88 200		AMM 2 2 7 3	11,078,204	010,000		3.6mg	11.475,852	curace
91	15,171,287	15511557	16236,682	16,190,315	9570591	17300138	17202519	17363899		**	5382385	ļ.		8.0	6.478.552			No.	1272.149	,		2.0	10,852,732			2	1730,000	+
892011	14,514,280	11.754233	14,839,615	15,422,738	16.163,519	16513289	16.03042	16376282		1000	4340005	135,459		1000	6.180,2015	256424		30000	7430,685	333,119		UZVE	10,180,056	423,760		118.63	16.870,002	230,246
1 1829	13100482 14	10230283	14,162,038 14	14(635,000 15	187285241	167394112 16	16893704 16	16,192,075 16		11 11 11	403083	10,203		17662	6,552,778 6	463,064		1 1882	7,087,963	596,150		ERRT U	9,117,583 10	1647.18		0.88tc U	16,192,075 16	1274538
410000	13,000,000,110,000,100,100,100,100,100,	12,222,704 15,	13512989 14,	13,938,952 14()	14717503 15;	15.082,965 16.	15.195.556 15.1	15,556,926 16;		822314 413	454,000	592,962		MA2009 62	4,61,207 6J	745952		MM2204 83	8832186 73	201500		800000	9,347,223 9,	1,222,571		86299	12.001.928 16.	2007.018
EN GENERAL	12,500,000 130	12,086,334 13,2	12142,516 135	1,006,402 13,5	(4347223 143	14625,000 15.0	14713388 151	321 32223131		(t) (th) (th) R	4421207 40	708,191		(4) 1650 R 203	1,522,140 5.6	903336		165,74	1625,000 6.0	1106771		US REDOR RIS	RUSSII 83	51 0927051		(±) (20) R Rd	321 02200	22942834 20
-	12,402,731	12775140 1236	12356,334 13,14	13,421,297 13,00	(4.162,035 14.34	14,000,015 14,00	14,522,439 14,71	14,000,071			435562 442	507,887			5,440,075 5,55	1,000,684 90			651367 66	1211501 110		2	(300g2) (U	1803114 150		2	_	2275256 239
2 × × 2	⊢	_	ш	\vdash	_	ш	\vdash	-		#K	424001 433	347,082 80		248 P4527535		Ш		28742m0	Ш			26000				2 2 XX	14,000,077	3295315 277
2	12.12.411	12,422,738	12,895,201	143 12,150,555	13,890,03	597(667) 1439(748)	14,162,088	633 14.532.438		į.	_	\vdash		716	5210,189	1,183,752		7.00	623 6395,741	114 1,420,582		7.85	482 8754880	182231		788	633 14532430	_
1	11,354631	52735,000	916 12310,166	778 12,373,148	132(122)	152311262	1038601	14.254(51)		9	500,000	378 1,098,712		1000	248 5225,048	720 1,295,928		980	016 625461	H128211 HIC		2000	258 0,000,482	338 2.13528		2 300	1425-653	220 2362300
100	SSECTION OF	010 TLTB4030	11,558,916	12462778	13.142518	13512368	11000000	11975/253		27401	702 4003,754	1772		11411	126 1092,348	340 1,485,720		100.0	967,013 858	1,718,084		2363	111 8282288	2362338		HER	11975003	022.000
5	20 11013,036	11324510	11569,445	1,022,438	54 12772.149	92 13.052,926	90 13143519	11,006,632		5	275,222 co	1267172		919	4012128	1606340		an .	10 5394854	8080001 (50		are	4106.01	362,4508		100	72 11,000,000	4424310
* aid	Na tossoan	55 10557.830	29 11106,692	22(22)1 08	12,351,354	33 12.694,192	12772490	11140519		xan	22 3,786,000	1426/88		MORE I	4,735,038	23 1205,860		NAME OF	535,200	2140112		MIN NO.	3,312,302	11 2346334		100.4	11021272	4311230
4033	10,613%	10,385,283	10420429	11.40380	11,322,332	12205230	12294539	12.682313		Marc 4	14 33,455,52	1,580,112		Wire -	4,550,240	1,990,138		2 + 3KB	6473069	2,352,154		4 4388	7,535,180	11236212		43,68	12542110	5,000,00
20099	8 SJ556178	0 0.063,531	0 10,175,789	10,884283	11,372,154	11,710,002	0 11,782,000	2 12,92112	4.6	2 cupta	0 3354514	1,712.163		20098	8 4,383,788	2,163,200		20000	6.295302	2,581,283		S SORTE	6 7,222.00.	0,531,333		o cdts.	2 12,042,112	0.000.000
0.000	9397608	3743000	9300360	13,383,902	11.105,424	11.438,962	11,527,563	11.925,342	1年行った組と	200	3468190	1,70,584		2422543	4335,465	2154463		2000000	8200,788	2757527		245054	2,155,006	3804383		2470740	11.925,342	4000 200
2000	4,115,234	37302320	9,704,898	12,152,846	25570031	11,238,188	11.208.686	11,725,368	100000000000000000000000000000000000000	2000	230,542	1,048,100		20,098	4,208,552	2315416		0.0008	5051,052	2773,609		SCREE	4,045,751	3,613,636		0.000	11,575,302	477,774
90 <u>0</u>	10211234	2130230	6400288	8,800,719	16622230	10955,056	11084350	11.442.138	# N. 10RB	10 i	1294,595	1931,789		20 m	4106232	2414236		#36 #36	4.927,478	2807800		38-3	4775282	1300214		200 X	11,292,130	100000
2	1,002 a ts	20,000,00	000,000	8,221,859	11,353,260	18,398,798	10,475,090	12,677,176	- BREAK	11 8	31154774	2393201		818	2,999,992	2621378		915	4,679,510	3,145,451		NR	4,404,227	4325,270		26.6	14,723,470	7,228,784
ä	2,610,442	7311834	6125594	1,000,000	9331459	1594,239	9.752.594	10101378	数ないを表	ı	2375-811	2301283		83	2535204	2394204		838	4,394,237	3,400425		6.2	6,000,820	4,758,772		88	10001376	1331,285
10 M	6,871,734	7,570,595	7391258	7,870,018	0.592,130	8335288	027-120	94.2533	(B) 11.9 28 80	10.00	2.034.585	2522,183		8831	3,996,232	2,152,739		83.9	4,541,878	2,00,000		36236	5,557,582	5,302,014		200	9.362.633	6570594
81	6311283	6.815,754	8631,114	2330008	8.052.533	8285419	8456714	0.0522.005	EDM CREE	1.0	2311235	2585139		0 X	3.194,544	3356424		11	3337463	4,007,709		178	5221,468	6533.100		3.8	0.712,486	9232.166
2	8000003	4177,756	6462159	00170000	7,681,622	300,400.0	8113759	0,511,540	eneta, 30	2	2432448	2,762,009		4.0	3004000	3,453,334		:	3,648,672	4.152.778		44	5,0 H,92N	5,689,013		94	0,001,040	0324230
ABON	\$130,576	8,487,708	6056138	0.05000	\$,051,502	2164,630	3273755	2/611/610	通行に係る料	A BOA	2251512	2100,656		ABBR 2417552	2,765,640	3,971,297		の最近の	2347.668	4,400,778		ARGR	4400,906	E,041,667		ARMIN	2,611,510	12012,704
8.800	5,012,812	1,219,274	650234	6011103	8,733,835	1,006,536	1165204	1,203,816	8五巻の1回の	N. Electric	2155279	1001300		COURS.	2,000,234	130400		E.M.007	1233,889	4,515,280		CHES	4440200	1,200,334		SERVE STATE	1,400,816	10,396,452
Marcon Marcon	4,517,4844	4724630	60377.008	5,515,598	6,236,580	6571233	0.60,000	1,030,413	V-4-00	MICEON	2322122	8.152.778		H1128	2312.152	2,549,075		MISSM	2314.582	4,736,112		961130M	4,145,051	0.504,630		Wattohn .	6,800,413	10319445
4118	4,135,551	4343033	1655563	5,134,652	5,895,084	6.199,792	6278093	5,835,832	2568843	MILES	1,000,726	1257093		Wille	2373,416	4,097,043		MILLER	2848093	4,922,774		Missa	2,816,123	6736.112		2002	6,520,072	11.192.515
5	3403212	100,000	4,192,784	4,631,738	5354231	8722,084	5,016,384	6214146	10年を場合に	5	1.104.115	3,469,771		10.0	2205,144	4252388		431	2648,112	5,106,002		411	3,038,488	7,003,148		63	0.064146	11,593,711
Į.	1475,310	1077,654	33656314	4.468,770	9127613	9117033	5.012/414	4017196	報を連絡して	5	377,007.	1158,334		10.00	2131344	4333393		10.00	2562,612	\$158,775		dia	3,516,719	2,142,519		1/8	\$100,100	1.232,953
45	2000120	1,205,018	201703	3,900,540	4619,42	4951880	5041278	2,439,200	0014000	444	1390272	1,507,900		#9.8 0+27532	1977.840	4.004.112		0804040 Well	2373,436	0001003		Marin December	1,003,430	7,303,519		(株)	2,429,200	12300226
報の報の報	2,800,530	3270722	\$300,042	2,300,044	9950059	4,923,394	2872122	5410.454	まったりーチュ	8-89	1530217	3834210		MAN-B	1317,836	4590039		EAST-D.	2235.475	5,450,354		SAMen g	2,156479	7,504,830		States 2	5,000,454	12,455,112
# Henrik	2317536	2334285	283768	2,316,003	4,005,002	4201283	4,460,653	4,050,440	ンジから午業	報を報じて 報を開発器 第四円法	1392128	100000		M 341796	1212160	4754693		WILL MASS-III	22642682	1038284		William IN	2,225,064	7,837,563		William &	4,330,443	13,041,007
200	1,00,028	2007018	2,348,978	2,622,040	35513442	3384,060	2,973,578	4000000	E4-6014	100	1,224,002	31030000		6 87	1,531,040	4,603,815		4 m/	1,842,048	0001000		200	2,532,814	0,34,360		2.08	4,221,000	13254530
:	1,046,702	1,041,054	1,966,014	2,438,276 2	3,161,775	3,494,918 3	0,588,914	3007302	雑誌の子も密告	:	1,1146775	0.06(166		n is	1,390,344	5,075,704 a		2.0	1,672,018	4,307,962 6		16.00	3,056,018 2	0,386,741 0		4	2,031,096	12575,000 13
HOR	234,485	341400	1,254,048	1,725,010 5,	2,655,512 3,	2708,350 3,	2,877,546 3,	1275/430 3	15+486	200	305216 1.	(20180)		non	1138323	£207360 A		200	1,363,824	6,402,739 4,		800	1,975,359 3,	L701,007 8,		800	1125,430 3	14619241 13
2008	572,136	775,425	1,091,688	0880080	2203,152 2	2825590 2	2715288 2	2112230	17.021A/TEN	Ness	901384	C310,198 C		30.00	1,077,690	\$ 000000		8008	129219	6,807.002		2000	1277.842 10	0.000310		8208	2,800,000,00	14,000,025 14
4	MEEV	317,132	17 25768	1,142,514	127,208 23	2233384 23	2 030000	2893934 33	日本高級協議等	NEW AND	332111	0.00058		AXX6 As	123,036	559,055		A STA	1336331	6,652,738 6,		AZYB NI	1,534,540	9,152,778 8.1		Azin as	2540,054 21	15,171,297 14,2
	<	VES-00000	162,960	04,222	1,383,034 1.8	1,696,962	1,715,946 2.2	2,112,742 2.0	第13点と下,	787 042000	03/210	150,000		6425082 AB	134,088	550,056		SACOSCAS AS	13 13	6332188 63		A CESSONS	1,215,245	9,385,741 9,1		OVERSONS AS	2,113,742 2.5	1824,280
		3	#B1	200,020	1,351,464	1,684,002 1.6	1,773,600	2111282 21	Rec 25-9	MR.	2 80008	662,963 4.5		Can take	735,046	528112 66		CAS CAS	882058	6384260 638		REA CAS	1215829 13	3,455,334 9,3		REI OVS	2021,002 21	18726252 165
			L"	2 588	812,902 1,30	1206340 1.69	1,004,000 1,7	1,600,420 2.17	846. XII	distr. At	407.04	Chasse to		1000	77	5912236 5.7		480 21	612,056 88	1,000,023		1007	925,452 1,2	8,754,630 9,4		1865 81	1542,420 2.00	38.08.815 35.72
101,122				Ľ	10 10840804	449,075 U.S.	F2238 136	100 110	独して銀行す	\vdash	230,022 44	counts C2		Н	261,952	636,589 591		Н	357,752 61	3,412,000 3,00		ш	401351 92	10,180,215		1000000	154	1635,395 1612
984003					CM04		116741	58 507.003	克伯勒斯提 古提	RXPA sembor	141,285 Zii	en en cue		WAPA MARKET	177,120 20	630069 638		MRPA AMBRO	212544 35	7,560,186		200 A 100 A	292,248 40	00325.00		#85P.A. 16888	417,000 11	1730000 1630
						最本テススマー	H	23.143	おいて第一部3	_	HZ01	5000188 533		-	140041	6226704 633		Н	123,531	7,587,283		Н	222,048 29	10335,008		Н	297,752 45	17283519 1730
200							Sep.	\perp	1一年まりがに	NT ENT	H	903 955413		12 BHZ1	-	447462 622		12021	Н	2222148 2282		N Botto	Н	10,000 FTE 10,379		24	2	12,162,268 17,280
機の機 (1000年) (1000年)								18-9-18	のた。最後のマーンの中では一般な様をは、正確なので、「一つのでは日本の主義をのからないできます。」の他の日本の主義をのからないできます。「日本の主義をのからないできます。」の他の日本の主義をのからないできます。「日本の主義をのからないできます。」の他の日本の主義に対しています。「日本の主義に対しています。「日本の主義に対しています。」の他の日本の主義に対しています。「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。「日本の主義に対しています。」」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」「日本の主義に対しています。」」「日本の主義に対していまり、日本の主義に対しています。」」「日本の主義に対していまり、日本の主義に対しています。」」「日本の主義に対していまり、日本の主義に対しています。」」「日本の主義に対していまり、日本の主義に対していまり、日本の主義に対していまり、日本の主義に対していまり、日本の主義に対しまり、日本の主義に対していまり。」」」「日本の主義に対していまり、日本の主義に対していまり、日本の主義に対していまり。」」」「日		- 2	818		344	226	The (43)		246	960	#® 3333		2446	- 99	3000 WW		2940	- 94	30.00
									12.52	* 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	200		45.0		á	*	424		é		大型車		326	*	47年		366	

別紙8中、1.(2) ⑨ロを次のとおり改める。

公房株正	500	420	420	430	420	629	420	007
WM25649	300	420	420	420	420	420	420	UC7
(生) 成田小見 川鹿島連維	300	929	420	420	027	420	970	UCP
ASR OFFICE	310	420	420	420	420	420	420	067
TRE	310	420	420	420	420	420	420	959
ires.	310	420	420	420	420	420	420	450
282	310	410	420	420	420	420	420	450
200	300	380	420	420	420	420	420	069
NAM	0.0	096	420	430	420	420	420	007
4.669是	310	330	430	450	430	430	420	007
つくば年久	200	300	430	420	1007	433	420	167
つくは	061	300	230	280	300	230	280	008
つくば中発	310	280	420	027	072	0079	077	007
37E 37E	240	061	350	320	350	350	340	USS
26.00	280	230	400	900	330	330	390	URK
22.8	240	180	350	350	350	350	350	950
第七四	200	150	310	310	310	310	310	310
五種	0.00	120	280	280	260	280	280	260
2.0	120	100	260	260	260	260	260	096
名類台図 ジャングション	0	98	69	00	09	82	09	09
日本産業	110	09	550	022	220	230	220	230
8871tb36	001	8	220	022	210	220	072	900
#3115#	66	30	200	022	230	220	220	000
911	001	09	200	220	220	220	220	220
2571	06	40	200	220	220	220	220	020
職を職のからなった	0	0.9	90	0.9	09	9	0.9	9
面を終する	20	0	160	160	170	350	160	Uys
WEDS	0	0	0	0	0	0	0	107
200	0	0	0	0	0	0	0	09
装件	0	0	0	0	0	0	0	07
Book	0	0	0	0	0	0	0	S
おかる形	0	0	٥	0	0	٥	0	æ
	八王子酉	0	0	0	0	0	0	130
		VEZ-PO-	۰	٥	۰	°	٥	0
			が設定	0	0	٥	0	05.1
				10,800	0	٥	0	0
					川高岩瀬谷	0	0	U
						編末P.A. スマート	0	U
							服免得水	U
								2000

418.00	370	210	0.0	6.9	200	0.0	630	
E182269	370	015	019	019	0.00	019	019	
(主) 成田小見 川野森湾線	370	015	010	0.9	0.5	0.9	049	İ
NAV SULV	370	510	010	610	810	010	610	İ
82 14	330	910	010	910	910	01.0	910	İ
er R	370	510	010	610	910	019	610	İ
1992	330	905	019	610	910	019	610	İ
400	370	470	010	910	910	010	510	İ
\$10.00 \$10.00	090	430	0.9	0.9	9.0	0.9	0.9	İ
4,4518	330	400	019	910	910	510	910	İ
0 (M#A,	3.70	383	0.0	0.9	830	0.9	610	İ
かんない ひゃいり ひゃいり ひゃいり ひゃいり ひゃいり ひゃいり ひゃいり ひゃい	220	38	300	98	SS.	8	98	İ
O CIRCLE O	050	333	069	069	cos	069	069	ĺ
2,00 3,00 3,00 3,00 3,00 3,00 3,00 3,00	240	220	390	380	380	390	380	İ
22 (6	300	270	999	940	430	430	440	İ
101	240	220	380	380	330	380	380	İ
雑さ対	150	130	340	330	330	330	330	İ
おは	150	130	300	250	300	280	250	İ
4.0	130	110	270	270	263	260	270	İ
大部立国	0	8	00	09	8	8	09	İ
0.0000	80	88	022	220	220	022	220	İ
96.7 (\$cot)6	06	8	022	220	250	002	220	İ
報用な木	08	ce	062	220	220	220	220	İ
eg :-	110	ge	330	220	220	220	220	İ
1.08	90	05	230	220	220	220	220	İ
1000000000000000000000000000000000000	0	90	0.9	60	90	0.9	60	İ
・ 日本株式品	40	20	140	150	150	150	150	ĺ
数は口菜	0	0	0	0	0	0	0	ĺ
УВ	0	0	0	0	۰	0	0	ļ
故	0	0	0	0	۰	0	0	İ
110011	0	0	0	0	0	0	0	ĺ
おきる形	0	۰	0	0	۰	0	0	ĺ
	NETS.	۰	0	0	0	0	0	ĺ
		ハ王子	0	0	۰	۰	0	ĺ
		0	3080	0	0	٥	0	ĺ
				2000	0	٥	0	j
					砂球路板川	0	0	ĺ
					_	展集P.A. スマート	0	ĺ
						_	服务原本	ĺ
							l	ĺ

								服务等未	3666 0
This case This							編末 P.A. スマート	0	0 0
This case This						高温温度	0	0	0
+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +				_	40,600	0	0	0	0
			2	MRILL	0	0	٥	0	98
1			AEF CONSEC		۰	0	۰	0	0
1	192	(E#S	0	0	0	0	0	0	100
This contribute This contr		0	0		0	0		0	8
This continue was a		0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0
This continue conti		0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0
This continue This continu	ď	0							
1									
Head Head	eg								
Horizon Hori	6012.4								
This continue This continu	88/10396								
1	日本国語								
18	名類白国								
	11 8								
Mark Mark	王雄								
	15.42 M			370	370	370		370	380
1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,	22	270	270	440	240	240	940	240	077
1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	_	330	330	400	000	009	900	009	009
Column C		270	270	430	040	430	430	430	430
	600	000	410	085	0.9	089	820	069	0.9
4-0016 CH CH CH CH CH CH CH C	ř	300	430	977	007	067	430	007	430
	_								
1									
1	300								
148 148	2.62								
14 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ir k								
20 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	35 14								
400 000 000 000 000 000 000 000 000 000	A.R. 0+070's U		620	020	020	029	020	029	029
	(生) 位田の見 川鹿島連維	020	029	620	029	620	ogs	620	620
	MM25669	069	029	6259	620	079	ogsa	620	820

							*	
						原本PA スマート	- 国を原木	
					の発送を	A.	0	
				458.00	1178	0	0	
			1000年	ji ji	0	0	0	-
		グヤンクション	a	0	0	0	0	
	NEFE	3		۰	0	۰	0	-
報を登録			0	0	0	0	0	
HOH.	0	0		0	0	0	0	
10.00	0	0	0	0	0	0	0	
200	0	0	0	0	0	0	0	
Statem	0	0	0	0	0	0	0	
第2級ヶ島	0	0	0 21	0	31 0	0 15	0	-
日本語 ひゃくりくかく		10 130	150 80	110	001 051	150	110	
- 10	0 20	06 0	80 260	1.0	0 270	0 390	1.0 280	
318	09	120	230	090	0 280	0.230	380	L
4012.8	40	1.00	280	092	280	230	290	
MA Utolifs	8	001	922	012	230	390	200	
白知歌歌	30	001	270	592	270	280	280	
久葬台間 ジャンクション	0	01.	00.	00.	00.	01.	00.	
ta	110	183	350	380	096	340	340	
200	150	220	350	380	086	320	380	
製作用	230	930	450	450	450	450	450	
2.3	310	380	240	820	610	840	240	l
36.00	390	980	620	029	620	620	019	ŀ
37E 37E	330	370	630	069	089	630	000	ŀ
TO STATE OF	669	069	710	730	2.10	220	720	
カイン カイス コート	380	98	009	003	009	98	061	
2012th A. 1	240	610	87.	24.7	04.7	181	773	
4.500	000	99	82	82	003	909	600	
対策策	020	720	850	860	880	880	800	
1 40	019	07.0	950	920	980	950	920	
SB X	010	820	950	980	950	980	028	
1015	010	950	950	910	950	950	018	
TRE DAY	020	950	950	910	058	058	910	
大阪 (生) (生) (生) (土)	620	920	058	820	058	058	830	_
(生) 成田小見 田宮	0.9	058	058	068	058	058	830	
M20164 634	019	058	058	008	059	058	068	_
ORRE	8	68	(SS	68	688	GS.	678	

1120 1000	1420 1420	1420 (420	1420 1420	1420 (420	1420 1420	1420 1420	1420 (420		A 国施216号 松田株工	420 420		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	510 510 510		- 原連250号 - 化高機定	620 620 620		A 国施256号 和居住室	058 058		- Range Ra	1420 1420
0000	0770	1,420	0,420	0291	1,420	0770	1,420		(生)成田小泉			(生)成期分別			(生) 成田小見			(王) 収田小見			(主) 成曲外見 川田島港線	
1020	1,420	1,420	1,420	1,420	1,420	1,420	1,420		大部とのション	420		大学シャンクション	510		A88 VEV0V+0	620		大衆シャンクション	850		RK VEVVVO	1420
1020	1,420	1,420	1,420	1,420	1,420	1,420	1,420		7.88	420		14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 1	510		756	920		7.82	950		786	1420
1,020	1,429	1,420	1,429	1,429	1,420	1,420	1,420		2012	420		Ŷ.	510		Best	620		39.00	950		9099	1420
021.	.420	. 420	.420	.420	.420	.420	.420		*353	410		116.1	905		100.0	900		1000	920		10 E H	1420
1,020	1,350	1,420	1,420	1,420	1,420	1,420	1,420		ž	380		400	460		200	260		200	760		2015	010
1000	1,220	1,420	1380	1360	1,420	1,420	1,420		MR.#	360		NAM	420		*25	620		19.9.第	7.0		****	1280
68	1,210	1,340	1,260	1,340	1,300	1,300	1,530		4.46.8	330		中水锅是	400		+ 336.8	480		4.65年	003		+ 534.8	0.11
(6)	1070	1230	7,230	1230	120	1,280	1,190		0 (##3	2002		つくば年み	98		2 CB#3	440		OCERA	610		2 CE#3.	1000
8	1,040	0001	000)	1,010	0(0)1	0.03	1000		2 000 mg	300		2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 200	988		0+000a0	430		2000 A C	985		2000 E	0001
740	096	1,100	1120	1,100	1100	1160	1,080		0 K483 0	590		ocides.	330		ocutes.	410		ocides 5	988		2 CIDBS	076
430	099	290	018	790	Bio	058	780		37CH 37CH	061		NO TAKE	210		JINC YEAR	270		#1>c	330		200 X	029
000	770	086	1,000	086	096	830	096		218	230		***	270		20.00	330		***	480		200	000
410	610	230	780	900	038	920	088		***	180		3 E	220		#.0	270		**	370		*	720
270	009	650	019	300	036	940	910		M 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	180		報告日	170		雑石羽	220		数けば	220		#5H	620
100	380	240	240	240	520	039	689		100	110		田瀬	130		100	160		五額	220		1188	420
8	310	460	480	460	480	470	510		**	100		10	100		4.8	130		1.0	180		1.0	350
0	8	92.	8	8,	co.	8	9.		公開台間 ジャンクション	8		女器日間 ジャンケンコン	SS .		久器白田 ジャンクション	08		文庫の回	8		女器自用 ジャンサンコン	08.
0	180	88	8	8	2962	340	340		2000年	8		WENT ST	98		Branch Day	08		A 新選用の	01.		SERVICE SALES	180
0	8	8	390	98	310	8	8		Matteria E	8		SEALUDIS D	8		EMULTON E	06		the second of	9		HRAUDSE E	92.
۰	200	â	340	960	cox	340	96		#U15.x	8		8112.* B	05		WIIE'S H	00		William N	001		# # # # H	(6)
0	160	340	340	340	340	340	340		8	09		8 81	ge		100	de de		18 W	901		810	081
0	300	330	340	340	340	330	330		1.00	00		1.78	90		Lie	20		II.W	001		L.W	170
0	2.0	170	OB1	OBs.	1110	170	170			0.0			09		Ļ	20			906		A	170
0	10	140	150	150	150	140	140		(株式) (株式	0		国を請す場 間を踏り	0		個大器・馬 (株大部) のセンクション	0		開を開す場 (株本製金) ことなりなった。	0		(株元) (株元) (株元) (株元) (株元) (株元) (株元) (株元)	0
0	0	0	0	0	0	0	0		\vdash	0		\vdash	0		SUDE BA	0		H	0		SULBK BA	0
0	0	0	0	0	0	0	0		84118	0		MELLER TO	0		Н	0		Metal 8	0		H	0
0	0	0	0	0	0	0	0		AM.	0		280	0		XE	0		3.80	0		N.	0
0	0	0	0	0	0	0	0		# ft	0		報	0		雑年	0		**	0		12	0
0	0	0	0	0	0	0	0		Hon g	0		HOH #			E BOXE	0		HOH HOH	0		THOUGH 4	0
in.	0	0	0	0	0	0	8		20.00	0		5 84 5 B	0		83.58	0		30 to 8	0		88.588	0
八王子酉	- 6	۰		0	0			1276.	ATTE	0		ATTE	0		SET VERS	0		ALE ALE THE	0		AE YES	0
	人田子							でがし、地震地ムンシープコンジの近いに第一条電音機を置き回路して部件する場合の原因機は、攻撃のとおりとする。 高質量等等	カキングション			グキンクション			ハモチワション			VEY CECOUNT			人用子ファンカンコン	0
		16894			0	0	0	会の展別機は、	48年			W.W.t.	0		1620.00	0		XRA	0		WEG.	0
			90,800					で送行する場	3100.00			治療物			2080W	0 0		10.004.00	0		4180.00	
				英田高田	0	0	0	の単語を顕微し	11,25,5314	0		11.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.00.0	0		23838611			三就能能够			11000000	0
				_	原本P.A. スマート	0	0	第日素楽一集2	編本P.A スマート	0		##PA XY=5	0		原本P.A.スマート	0		##PA 47=5	a		原本P.A. スマート	0
						服务原木	0	エンジにおいて	#888x	0		無公司木	0		米熱水園	0		服の原木	0		報を導木	0
							3446	8473-4.	3668			344.5			28.65			2 44			施書名	
								ただし、治安を経ら時期等	_	325	非语素		3986	中型車	_	225	大型車		3866	特大車	_	398

別紙8中、1.(2) ⑪ロを次のとおり改める。

No. of the control

611818

8.8.8

	本業等	1,200	800	2000	(425)	1470	1480	1560		ME.	1310	106	7360	3303	2300	1,970	T
	****	CIT)	051	981	1510	1240	1.543	1.850		****	1,963	2333	3313	2333	01/2	212	t
	Н	991	9 1	107	8	85	80	2.5		H	920	9	8	8	9 1	21.00	+
	SEE C									0.000							
	3383	1,233		- 1	180	199	196	1,410		48.814	1300	186	301	130	2007	(5)	
	0.00 EM	QIO.	9 1	(2)	(85)	0901	080	080		200AM	C891	0301	OTA	00.0	080	100	T
	282	81	000	230	86	333	. 333	360		180		007	005	223	601	000	t
	H	080	9 9	910	9571	0851	0851	981		H	1860	05.71	0001	1680	9.1	01.1	+
	大量日本									3.0 mg							
	F.2	2281	2 5		2	176	20	1.2		*	371	31	2	2		120	
	CREE	98	900	8	9501	0801	0.01	0(1)		10,000	1,790	1480	067	1400	089)	1450	1
	に記載に	3	Ξ :		8	808	100	310		2883	1,370	2	76	1711	138		t
	410088	8	§ 1	- 8	8	000	38	96		610088	1080	1000	311	120	60	1300	†
		373	3 1	2 8	83	113	173	9/4			0.00	17.0	133	123	86	133	
	(X) 635-R/I							0		CAL SCHOOL							
	2500000	990				Ш				24,000	t)	13	100	20	a)	1480	
	Till	320	3 3	630	306	120	836	150		ž.	1,000	138	132	1216	138	136	I
	*	8	9 6	8	OR .	0	08	960		1	1080	1300	0311	1230	067)	000	t
	2.05	p.	100	2	25.5	305	200	141		***	100	107	1.158	1338	100	1 15	+
	H	8	8 1	2	98	00	200	380		H	387	352	911	0.21	8 :	3 3	+
	46	128								2							
	232	12	2 .		8	3	8	44		H.E.						134	
	47.588	280	0.0	(2)	OFF	300	990	980		1/558	1080	1130	1140	1380	1230	1200	I
	2 (d#A	34	2 2	15	25.0	3115	315	195		V40) 4	188	1,000	7700	218	123	200	t
	28000000	200	R 1	2	2	000	008	940		2000000	19.0	0001	1000	80	002	007	+
	-	312	2 1		205	203	992	416		-	-	2000	833	957	8 1	1210	+
	20069	98								64200							
	(=2.1 () 0									2.7 (if						1180	
	9.6	90	5 8	12	25	010	0.0	992		2	130	83	8	000	2.00	0.00	
	×	003	8 8	03	1,00	300	94	360		2	113	000	000	333	664	3	Ī
	WAN	25	8 8	1 1	299	:00	320	H		KW3	37.	135	H	15	2 :	8 8	†
	H	600	8 8	2.0	S	8	28	693		H	693	000	00	2.0	22	8 8	+
	ar.	989	9 1	9.	8	8	8	960		18	8	98	8	9	8 :	2 8	1
	**									8							
	5.000 0.000 0.000 0.000 0.000	413				Ш				Salest Section 2						W W	
	MESS	98	9 1	989	9.5	3	000	98		KRHU	909	000	8	85	e :	9 8	T
	8n (m)	3	E 3	60	89	213	111	141		80.8	tto	113	808	100	88	0 0	t
	H	8	8 3	1 1	39	37	397	215		H	20	39+	2	ž	£ :	8 8	+
	SHEE	273	113	2 2	2	(1)	(1)	653		15112	2/0	433	433	6/0	111	8 8	+
	ň	9						0		1							
	18			000						ž.						9 00	
	28.48 CAG	375			175	330	909	579		1000年	322	325	×	209	204	¥ 8	
	Med-a	210	2 9	92	9	0.00	98	410		E-80-8	200	81	8	039	98	8 8	1
	B1108	22	8 3		808	338	355	273		British B	100	11	8	341	6	10	†
	Н	8	9 8	92	ä	8	20	380		H	180	3	ž	ř.	330	9 3	+
	288	100	82 12		243	850	223	X.		ž.	142	2	2	238	52	20 00	+
	N.W.									K.K							
MR 5480	RAM		8 8	8	9	38	230	380	#54 M 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	97.6	30	9.	8	8	300	8 8	
22 8 X X	92.54	3	8 1	=	ĕ	300	×	200	# N N N N N	92.64	3	8	×	180	E :	1 2	T
	٦	2448	8 4	. 8	ä	91	81	200	5		2000	Ŷ	8	2	9	8 8	†
8 8 8 8		щ	A 9	5 51	8	×	27	R	8 8 8 8		ш	489	8	22	9 :		+
		Ľ	2007040		8	8	8	361				\dashv		0	8 :	8 8	+
N-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-18-			1	-	-				\$ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				AND				
A 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1000	ľ	ľ		120	2.5 (2.5) (3.5) (4.5) (5.5)					HINE	SE :	5 5	
2					12220	۰	0	33	D					1	1,422.0	9 8	T
					ш	## P.A.	-	~	80 s					L	+	ĵ	t
ži.							第2五十	0	<u>x</u> .						Ľ	NAME .	+
4							ŵ		4							É	+
2								246	**************************************								
美 國									***************************************								

	X X X X X X X X X X X X X X X X X X X	1100 1100 1110 1110 1100	200 Miles	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2000 2000 2000 2000 2000	2 82 F
	2	20 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0	100	100 SS	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	233	2002
	8 8 8	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	8 3	8 2	8 8	8 8	0.8
	2 8 2	200 210 200 210 210 210 210 210 210 210	200 miles	1500 CO	199	8 8	2 2 2
	20		Ē	198	2	28	8
	0000000 2000 2000 3000	1200	200 100 100 100 100 100 100 100 100 100	24 - 1 1200 1200	A 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7	2005 2005 2005 2005	2470 2470 2470 2470
	2313 2313 2393 2493	0300 0300 0300 0300 0300 0300	146 Si 3	250	264 C	2333	3800
	2000 2000 2000 2000 2000	100 100 110 110 110 110 110 110 110 110	80 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0	24 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	24 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	100 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	200 mm
	-	200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	2 2	2 5	2 8	2 8	4
	210	20 21 22 22 23	499 do 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	900	07.030 0.030	1770 0770	200
		B102 B102 B102 B102 B102 B102 B102 B102	2 P 2	2 2 X	200 S	200 DE	2000
		8 6 6 6 6	2 2	8 8	2 2	2 2	
	8	222 223 224 224 224 224 224 224 224 224	7.00	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	8	### ##################################	8
	8		2.0 000 000 000 000 000 000 000 000 000	ESPECIAL STATE OF THE PERSON STATE OF THE PERS	(5) (5) (6) (7)	(2) CE 0009-04.0 (400 1.543	82
	800		# Sec. 25	* 52 * 52	\$30	\$ 50 A 50 A 50 A 50 A 50 A 50 A 50 A 50	80 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0
	7	270	¥ %	#4. H H H	27. 20.13.	¥ 80	262
	# 0807 0817 0802	1280	B 6: 8:	# 00	# 2 3	# 040 00	# 002
	150	238	10 10	100	1000	1981	2002
	1000	000	5 00 00	\$ E E	\$ 8 8	90 00	8 8
	1.53	9 8 8 8 9	8 8	2 5	100	101	2 5 5
	\perp	0 0 0 0 0 0	200 cm	4,448 83 83	980 00	1380	230
	\perp	212 22 22 23 23 23 23 23 23 23 23 23 23 23	2000 A 900 A) X X X X X X X X X X X X X X X X X X X	268 A	7-(d+A 1300 A 13	213
	\perp	8 8 8 8		200 CM2 CM2 CM2 SM2	000 000 000 000 000	000 1200 1200 1200	2100 2100 1000
	0 0 0	2000 2000	2000000	9.0			2.9
	150 160 150 160 150 100 150 100	88 18 8 29	94400 c c c c c c c c c c c c c c c c c c	200 CERPS	100 CGE490	7 200 mg 120 mg	200 20
	5 8 5	000 000 000 000 000 000 000 000 000 00	8 S	200	10 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	20 PG	27.2
	*		613	8 6	9 S	*	я
	5		2	2	2	8	2
	4	1532	372 312 81948	16 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	17.1 20.0	1001	1931 16230
	100 (100 (100 (100	001	10 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0	\$ S	2 2	91 016 010	# CS 000
	100 mm	0071	** 31	48 (a)	\$ 8 8	* 8 8	\$ 000 MILES
	1938 1938 1938	000 000	38688 X 2007 500 X 200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	242000 242042 800 800 800	200 000 000 000 000 000 000 000 000 000	AMDM VV27/207 VV	1200 1200 1200
	8 8 8	901 911 921	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	8 8 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	8 2	# S S	E 80 00 00
	* N N N	8 8 8 8 8	8 8 8	8 8	8 3	# P E	# E E
	+++	8 8 8 8 6	2340281754 24 24 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35	27 10 10	2 2 2	# E	200
		8 8 8 8	10 MH MAL 33	1 2 2	2 3	8 8.	8 8 8
	8 8 8	8 8 8 8	100 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	8 F	F 01 01	158 000 001 001	0001
	\Box	2 2 2 2 2	100 日本 100 日本	H-H-			
	# 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	8 8 8 2	# R R R	200 St. 200 St	20 000 000 000 000 000 000 000 000 000	# 0 000 mm	### B
		5 8 8 8 9	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	211 Selection 2011 30	273 470 470 470 470 470 470 470 470 470 470	# N 113	8
	2 2 2	9 8 8 8 2	800 S S S S S S S S S S S S S S S S S S	8 8	8 0	0 0	178
	5		14 F	2	2		2
	2		(新世田) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	2 2	£ 5 5	4.1	8 8
	9.00	8 8 8 8 8	関トウル製御で 00.	10 E E E E E E E E E E E E E E E E E E E	858 80 80 80 80 80	390	2500
	86.84 8 34 71	2 2 5 5 3	を を を を	Mo see	300 000	322	52 CH
	A4448	9 2 8 8 9	7.1 (98 to 200)	9427	84 mm	200	AZ 788 400 2.590
* * * * *	× 8 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80	F R R R R	20 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14	2 P B	X82000	787474.0 88 881	0407040 0407040
6994.	20	8 8 8 8	20 M	3 × 3	8 8	20 25	A 800
3 80 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Ц	## H H H H H	100 May 100 Ma	10 00 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	## E	88 E E E E E E E E E E E E E E E E E E	27 22 22
1000000000000000000000000000000000000	L	X 2 3	・	1099 RB0 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000	1 500	6 (52)	1.00
		- x	20 NO NO NO NO NO NO NO NO NO NO NO NO NO	24 A 24 A 24 A 24 A 24 A 24 A 24 A 24 A	## YOUNG	20 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	200 A 200 A
2 · 6			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 3	0.0		2 2
Щ		200	Columbia Columbia	*	*	*	-
繋に		10 12 8		8	3	*	3
			10日歌中央 8465	# 9 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	中 (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	A 25 A 3 A 3 A 3 A 3 A 3 A 3 A 3 A 3 A 3 A	# 2 2 Z

別紙8中、2. のうち、「平成72年3月8日」を「平成72年1月6日」に改める。 別紙8中、別添3のうち、

「富士吉田北スマート」を「富士吉田西桂スマート」に、



Γ			Γ			豊明	
		豊明			刈谷 スマート	4.3	
	豊田南	7.6	」を	豊田南	3.3	7.6	」に改める。

別紙特2を次のとおり改める。

別紙特2

(協定第5条第3項関連) (機構法第13条第1項第4号に定める協定記載事項)

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る 債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

(消費税込み)

	(石县机足)//
年度	債務引受限度額
H 2 7	956百万円
H 2 8	4, 172百万円
H 2 9	66, 901百万円
H 3 0	77, 058百万円
H 3 1	83, 560百万円
H 3 2	96, 385百万円
H 3 3	92, 392百万円
H 3 4	89, 350百万円
H 3 5	89, 769百万円
H 3 6	94, 271百万円
H 3 7	99, 081百万円
H 3 8	96, 940百万円
H 3 9	98, 470百万円
H 4 0	106,868百万円
H 4 1	66, 477百万円

⁽注1) 平成27年度から平成28年度までは実績値を記載している。

⁽注2) 上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを 認めるものとする。

この協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、記名押印の上、各々1通を保有 する。

平成29年 8月 4日

独立行政法人日本高速道路保有。債務返済機構 勢 山 廣 直 理 事 長

中日本高速道路株式会社 代表取締役社長 宮池 克人